Panasonic

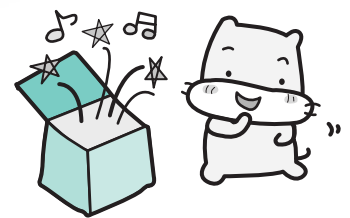
パーソナルコンピューター

取扱説明書『はじめましてパソコン』

品番 CF-X10 シリーズ

最初にすること、知っておきたいことのほか
パソコンの基本、パソコンによって広がる世界について紹介しています。

この本からスタート！

はじめまして パソコン

本書のほかに…

一問一答集
パソコンの一般的な操作方法や
よくある質問を紹介しています。

活用例集
パソコンを楽しく便利に使いこなす
ための活用例を紹介しています。

パソコン画面上の「マニュアルの部屋」には、上記に加えて、用語集や各アプリケーションのマニュアルなど、いろいろなマニュアルが集められています。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
・取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

パソコンを楽しむ

（→ 45 ページ）

知っておきたいこと

（→ 61 ページ）

※他の説明書の紹介や、表記上の約束については、54ページ「説明書を活用する」をご覧ください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示の欄は､｢死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される｣内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は､｢傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される｣内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意

⚠危険

火中に投入したり加熱したりしない

禁止

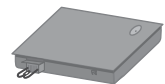
液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

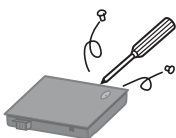
禁止

液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

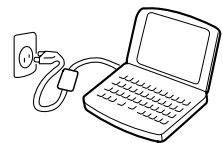
禁止

液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

分解したり改造したりしない

分解禁止

液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-X10シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ･発熱･破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・異臭がする
・煙が出ている　　・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 異常が起きたらすぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない
また、本書に記載のない方法で分解しない

高電圧に注意
本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

上に水などの入った容器や金属物を置かない

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。
- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※の原因になります。

ひび割れたり変形したりしたCD・DVDは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

● 円形でないCD・DVDや、接着剤などで補修したCD・DVDも同様に危険ですので、使用しないでください。

DVD-ROM&CD-R/RW一体ドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

● 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

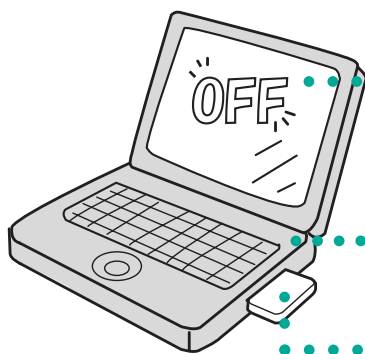
※ 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

取り扱うときは

こんなところに気をつけて

持ち運ぶとき

●ディスプレイを持たないでください。
（下記「ディスプレイの取り扱い」）

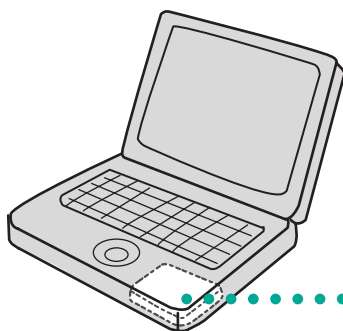
●電源を切って（→ 19 ページ「電源の切りかた」）、
電源表示ランプ(⏻)が消えたことを確かめてください。

●突き出たカードは取り外して、接続しているケーブルも
取り外してください。

●落としたり、机の角など固いものにぶつけたり、衝撃を与えないでください。
（下記「ハードディスクの取り扱い」）

ディスプレイ（LCD パネル）の取り扱い

・衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びのときは十分注意してください。
・カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが、ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができることがあります。これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクの取り扱い

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとパソコンが使えなくなる場合があります。
パソコンの取り扱いには十分注意してください。

航空機を利用するとき

機内に持ち込んでください。また、使うときは航空会社の指示にしたがってください。

「ハードディスク」など用語については、[スタート] → [マニュアルの部屋] の「用語集」をご覧ください。（→ 54 ページ）

お手入れのしかた

●ディスプレイ
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。

●ディスプレイ以外の部分
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、やさしく汚れを拭き取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

●トラックボール

 『一問一答集』をご覧ください。

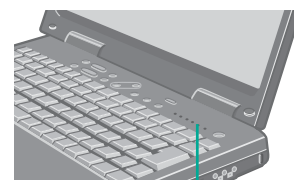
・ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に悪影響を及ぼす場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に悪影響を及ぼす成分が含まれている場合があります。
・水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

データの保護のしかた

コンピューターウィルスから、データを守るには

コンピューターウィルスとは、パソコンにトラブルを起こすように仕組まれたプログラムのことです。インターネットや電子メール、またフロッピーディスクなどの媒体を通じてウィルスの入ったデータを取り込むと、そのパソコンもウィルスに感染し、さまざまなトラブルが発生します。ウィルスの感染からパソコンを守るために、ウィルスチェックプログラムで定期的にチェックを行うようにしましょう。（詳しくは→ 『一問一答集』）

データを壊さないために

Windowsやアプリケーションの動作中およびHDDアクセスランプ( )（→右記）の点灯中は、電源を切らないでください。アクセス中に電源を切ると、データの破損の原因になります。

HDD アクセスランプ( )

データのバックアップをとる

ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合（故障・変化・消失）に備えてフロッピーディスク、CD-RおよびCD-RWなどにバックアップ（コピー）をとってください。（詳しくは→ 42 ページ）

よしっ
きちんと守ろう！

最初にすること

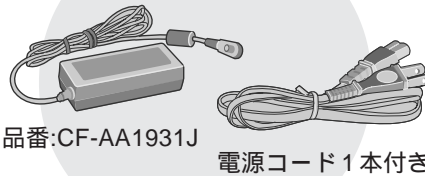
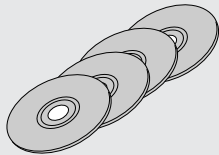
箱の中身をチェック

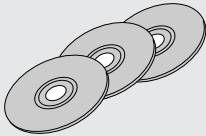
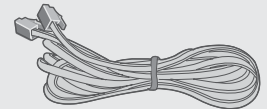
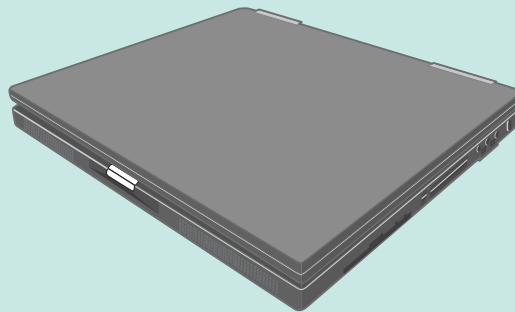
お買い求め後は、箱の中身を確かめましょう。
足りないものがあったり購入したものと違うものが入っていたりした場合は、お買い上げの販売店にお確かめください。

パソコンの包装袋のシールをはがす前に、「ソフトウェア使用許諾書」(→ 62 ページ)の内容を確認してください。

AC アダプター 1 個

品番:CF-AA1931J

電源コード 1 本付き

プロダクトリカバリー CD-ROM 4 枚

モジュラーケーブル 1 本

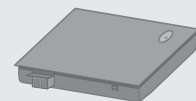
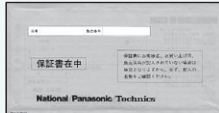
アプリケーション CD-ROM3 枚

パソコン 1 台

アプリケーションパック 2 部

Microsoft® Office XP Personal

Microsoft® Encarta® 百科事典 2001 Basic

標準バッテリーパック 1 個

品番:CF-VZSU23

お願い

金属端子部を手や金属で触らないでください。
→4ページ、『一問一答集』

印刷物一式

取扱説明書 3部

はじめましてパソコン（本書）	活用例集　ダイジェスト版（音楽・画像・通信）	一問一答集

保証書 1部

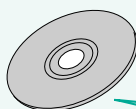
その他の印刷物

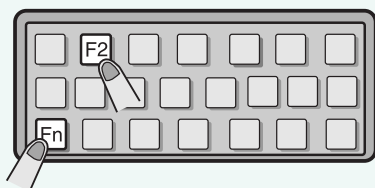
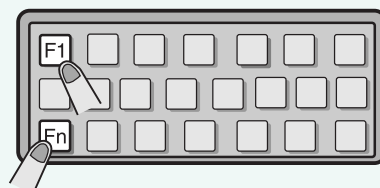
- Windows XP クイックスタートガイド
- ヒサゴ製光沢紙 VHS ビデオラベルサンプル
- お買い求め後、すぐに「故障かな？」と思われたときは…
- Microsoft® Office XP Personal のご案内
- BeatJam XX-TREME のご案内
- 駅すぱあとのご案内
- 各種ご案内（hi-ho・@nifty・ODN・BIGLOBE・ドコモ AOL・DION・OCN）
- 各種登録はがき
  - MotionDV STUDIO
  - 筆ぐるめ
  - B's Recorder GOLD

B's Recorder GOLD をはじめて起動するとき、あるいはインストール時に必要なシリアル番号が記載されています。

最初にすること

このパソコンの紹介

詳しい各部の名称や、周辺機器（別売り）とのつながりについては46ページをご覧ください。

ディスプレイ（LCD パネル）

画面を明るくしたいときは
Fn を押しながら F2 を押す。

画面を暗くしたいときは
Fn を押しながら F1 を押す。

電源ボタン

このボタンを押すと電源が入ります。（通常、終了時は使用しないでください。）

フロッピーディスクドライブ

大切なデータはフロッピーディスクにバックアップ（コピー）をとっておこう。
容量の大きなデータは、CD-R や CD-RW などにバックアップをとると便利。

フロッピーディスクは持ち運ぶ
ことができて便利！

ハードディスク（HDD）

ソフトウェアやデータが記憶されています。

スピーカー

音を大きくしたいときは、音量調整ボタンの ＋ を押す。

音を小さくしたいときは、音量調整ボタンの － を押す。

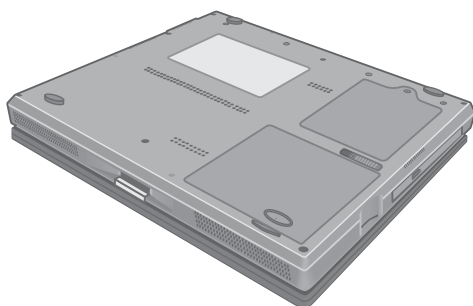
Windowsを起動しているときは、＋ と － を同時に押すと音が消されます。→ 『一問一答集』

使う前の準備

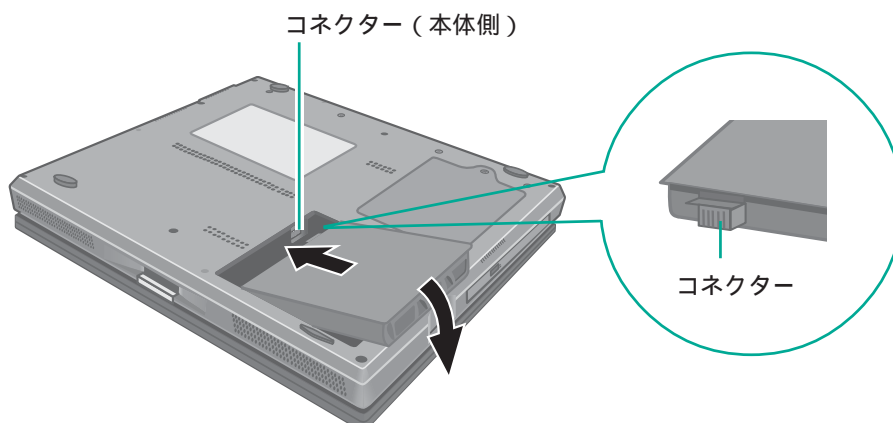
バッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックとは充電式電池のことです。会議室や外出先などで、電源コンセントから電源をとることができない場合でも、バッテリーパックがあるとパソコンを使うことができます。
バッテリーパックは、最初はパソコンに取り付けられていません。付属品の箱の中に入っています。パソコンを使い始める前に、バッテリーパックを取り付けてください。

1 本体を裏返す。

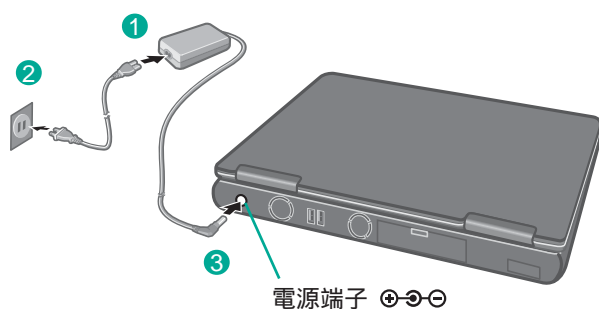
お願い

- 必ず「安全上のご注意」（→４ページ）をお読みください。
- 指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。
- バッテリーパックの取り付けは、パソコンの電源を切った状態で行ってください。
- バッテリーパックの取り扱いについて詳しくは 『一問一答集』をご覧ください。

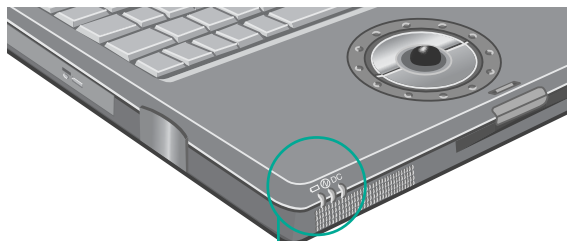
2 バッテリーパックを取り付ける。

バッテリーパックのコネクターと本体側のコネクターをあわせて挿入する。

- バッテリーパックを取り付けたら、AC アダプターを接続して充電しましょう。
  バッテリーパックは、工場から出荷された状態では充電されていません。
- バッテリーパックの取り外しかたは→ 『一問一答集』「バッテリーパックの取り付け/取り外し」

AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを使って、パソコンを電源コンセントにつなぎます。
使うことができるACアダプターはパソコンによって決まっています。必ず、付属品または別売り品として紹介されているものをお使いください。

❶→❷→❸ の順に接続する。

取り外しかた
接続するときとは逆に
の順に取り外します。

充電が始まります。

ACアダプター接続ランプ（DC）およびバッテリー状態表示ランプ（）が緑色に点灯します。

充電にかかる時間：約3時間
パソコンの動作状態により、変わります。
充電状態はバッテリー状態表示ランプ（ ）でお知らせします。
・充電中：緑色
・充電完了：消灯

バッテリー状態表示ランプ

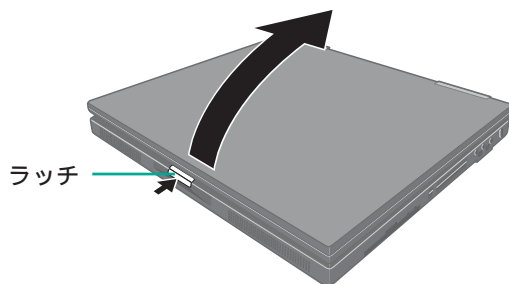
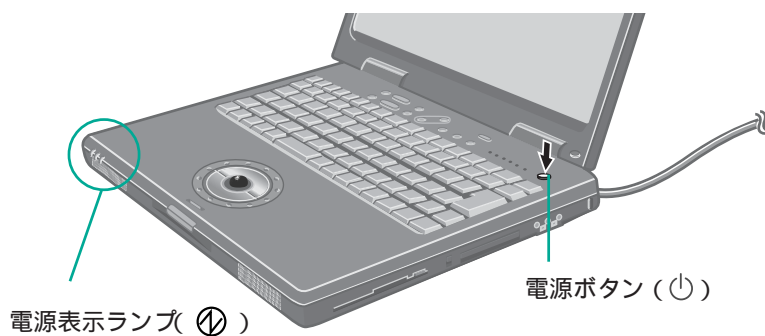
バッテリー状態表示ランプ（ ）について詳しくは→ 『一問一答集』

最初にすること

はじめて電源を入れる

バッテリーパックを取り付けて AC アダプターを接続したら、いよいよパソコンの電源を入れましょう。

はじめて電源を入れるときは、バッテリーパックと AC アダプター以外の機器は接続しないでください。

1 **ディスプレイを開ける。**
ラッチを押すと、ディスプレイが少し起き上がるので矢印の方向に開く。

2 **電源を入れる。**
電源ボタンを押し、電源表示ランプが点灯したら手を離す。

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで、数分お待ちください。
（ディスプレイに Windows のロゴ画面が表示され、「Please wait…」というメッセージ画面が表示された後、いったん画面が真っ暗になりますが、キーボードやトラックボールなどに触らずにお待ちください。）

- **Windows の表記**
  正式名称はMicrosoft® Windows® XP Home Edition です。 本書では Windows または Windows XP と表記します。
- **セットアップとは**
  パソコンを使い始める前の準備作業です。使用許諾書に同意したり、パソコンを使う人の名前を登録したりします。

次ページの「セットアップのしかた」をご覧のうえ、操作してください。

セットアップが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。

セットアップのしかた

1 画面の説明を読んで、次へ進む。

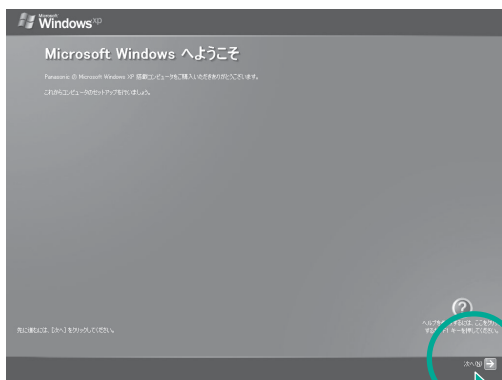
[次へ]をクリック

クリックのしかた

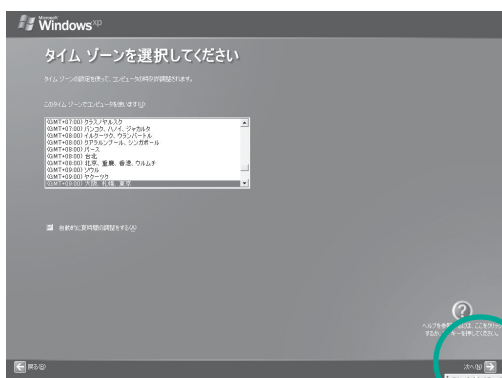
トラックボールをくるくる回して、

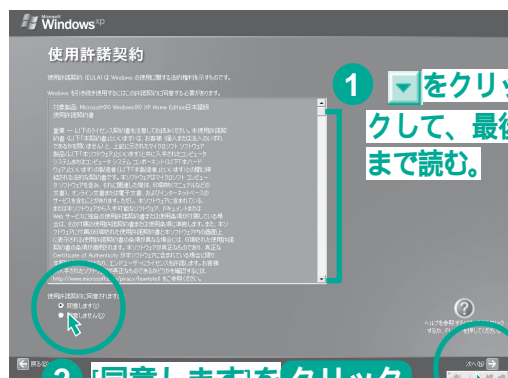
ポインターを目的の項目にあわせ、

キーボード側のクリックボタン（上ボタンという）を1回カチッと押して離す。

（トラックボールとクリックボタンについて→26ページ）

間違って［次へ］をクリックしてしまったら
あわてず［戻る］にポインターをあわせてクリック。1つ前の画面に戻ります。

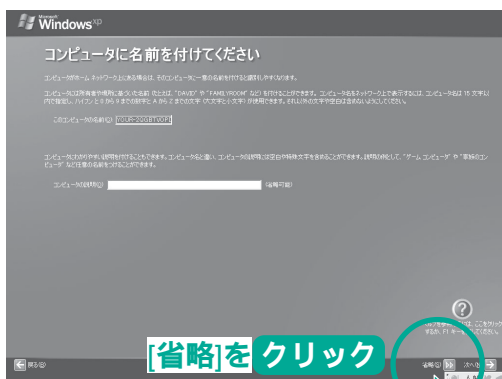
最初にすること

2 タイムゾーンを確認する。

[次へ]をクリック

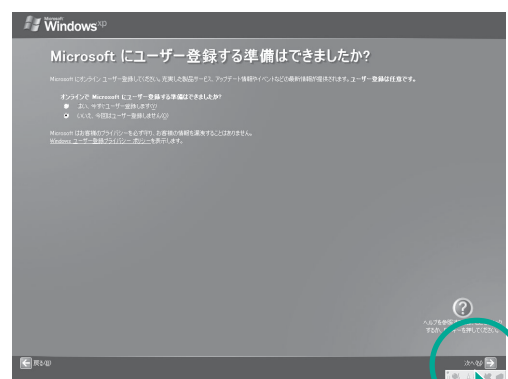
3 「使用許諾契約書」を読む。

1 ▼をクリックして、最後まで読む。

2 [同意します]をクリック

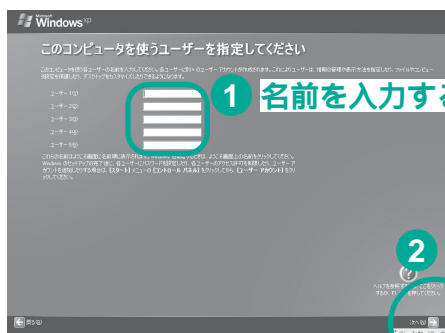
3 [次へ]をクリック

4 名前を付けないで次へ進む。

[省略]をクリック

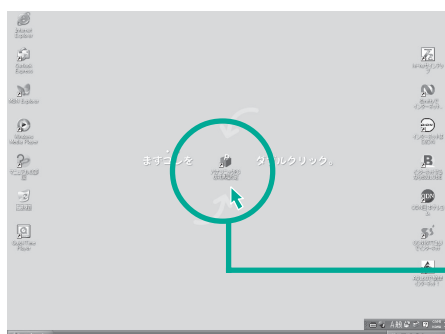
「インターネット接続が選択されませんでした」画面で［次へ］をクリック

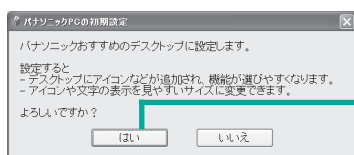
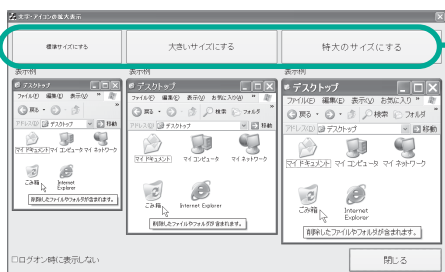
5 ユーザー登録はしないで次へ進む。

[次へ]をクリック

（次ページへ続く）

6 このパソコンを使う人の名前を入力する。

文字入力のしかた→ 31 ページ

ここで入力した名前は、すべて「コンピュータの管理者ユーザー」として登録されます。→『一問一答集』「<コンピュータの管理者>と<制限付きアカウント>」

7 パナソニック PCの初期設定を行う。

左記画面が表示されるまでに数分かかりますので、お待ちください。（途中、画面が暗くなりますがそのままお待ちください。）
また、手順6で複数の名前を入力した場合、左記画面が表示される前に、ユーザーを選ぶ画面が表示されます。使用するユーザー名をクリックしてください。

ダブルクリックのしかた→ 26 ページ

「標準サイズ」のままでいい場合は、［閉じる］をクリックしてもかまいません。

選んだ表示サイズの設定が有効になります。

8 パソコンの電源を切る。 （→次ページ）

いったん電源を切ってください。電源を切らずに使い続けると Windows WP が正常に動作しない場合があります。

電源の切りかた

電源を切るときは、必ず、画面上で終了操作をします。
電源を切るときは、電源ボタンを使いません。電源ボタンを使って電源を切ると、パソコンが正常に動作しなくなったり、トラブルのもとになりますのでおやめください。

お願い

- ソフトウェアを使って作業していた場合は、終了操作をする前にその作業を終了してください。その際、必要なデータは保存しておいてください。保存については、「作ったものを保存しよう」（→39ページ）をご覧ください。
- HDD アクセスランプ（）（→48ページ）の点灯中は電源を切らないでください。

1 [スタート]を クリック

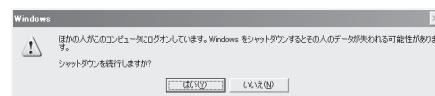
2 上部に表示されたスタートメニューの中から[終了オプション]を クリック

[電源を切る]を クリック

自動的にパソコンの電源が切れます。

電源表示ランプ（）が消灯

スタートメニュー
このメニューからいろいろな操作を始めるので、「スタート」と名付けられています。終了操作もこのメニューから行います。

他のユーザーがログオンしている場合、下記のような確認メッセージが表示されます。

必要に応じて各ユーザーごとにログオフ操作*を行ってください。すべてのユーザーのログオフ後、画面左下の をクリックしてください。

* ログオフ操作：該当するユーザーでログオンした状態で、[スタート] → [ログオフ] をクリックし、[ログオフ] をクリックする。

パソコンにACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。（AC アダプターをコンセントに接続しているだけで約 0.6 W の電力が消費されます。）

最初にすること

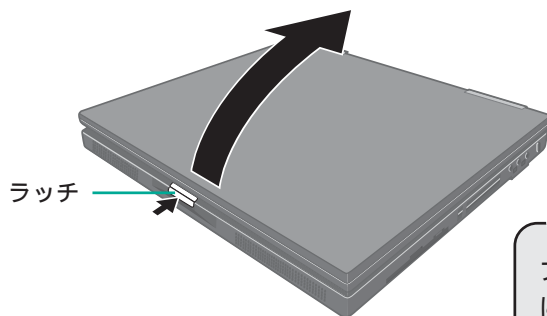
電源を入れる（2 回目以降）

セットアップ終了後に電源を入れる

はじめてのときでも、2 回目以降でも電源の入れかたは同じです。

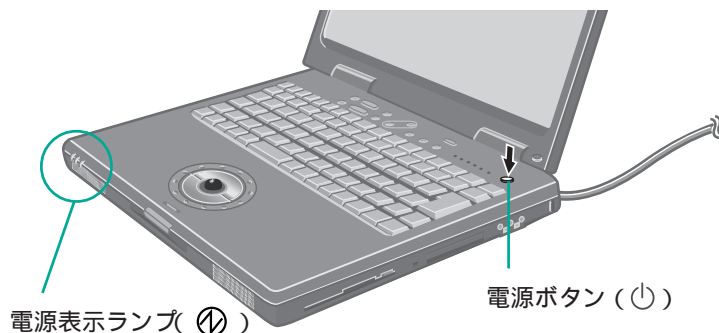
1 ディスプレイを開ける。

ラッチを押すと、ディスプレイが少し浮きあがるので矢印の方向に開く。

お願い

プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、先に各周辺機器の電源を入れてください。

周辺機器の接続のしかたは→ 『一問一答集』

2 電源を入れる。

電源ボタンを押し、電源表示ランプが点灯したら手を離す。

Windows が起動します。

ユーザーを選ぶ画面が表示された場合は、使用するユーザー名をクリックしてください。

「オンラインメンバー登録」アイコン
オンラインメンバー登録をしてください。
（→ 『活用例集』）

「バックアップディスク作成のお願い」
必ずアップデート FD を作成してください。
（→ 21 ページ）

アップデート FD を作る 重要

万一の場合に備えて

パソコンの動作が不安定になったり、ハードディスクの内容が壊れて操作ができなくなったりした場合に、「再インストール」（工場から出荷された状態に戻す操作→ 『一問一答集』）を行う必要があります。
「再インストール」をするには、ここで作成する再インストール用のディスク「アップデート FD」と、付属の CD-ROM（「プロダクトリカバリー CD-ROM」と「アプリケーション CD-ROM」）が必要です。
再インストールが必要になったときには、「アップデート FD」を作ることもできない状態になっている可能性があります。必ず、お買い上げ後すぐに「アップデート FD」を作成しておいてください。
ただし、「アップデート FD」は作成しなくてよい場合があります。下記「アップデート FD の作成のしかた」手順 *1* を行ってご確認ください。

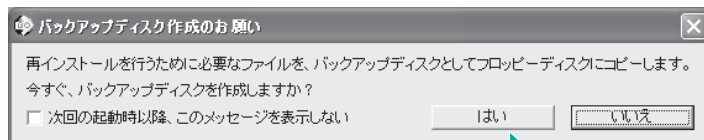
準備するもの

2HD のフロッピーディスク 1 枚（別売）

・フロッピーディスクには、「2HD」と「2DD」の 2 種類があります。パッケージなどに「2HD」と書かれているものをご購入ください。
・場合によっては、ディスクが 2,3 枚におよぶこともあります。フロッピーディスクは少し余分にご用意ください。

アップデート FD の作成のしかた

・途中でバッテリーがなくなってパソコンが動作できなくなることを避けるために、AC アダプターを接続しておいてください。
・アップデート FD の作成中は、他のアプリケーションは実行しないでください。
また、他にも常に稼働しているソフトウェア（常駐ソフトウェア）がある場合は、終了してください。
（終了のしかた→各ソフトウェアの説明書）
ただし、「オンラインメンバー登録」画面が表示されていても、終了する必要はありません。

1 「バックアップディスク作成」ソフトを起動する。

[はい]をクリック

この画面が表示されていない場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic] → [バックアップディスク作成] をクリックしてください。

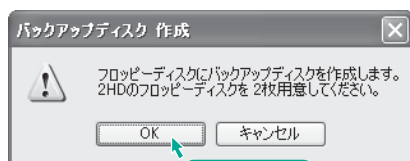
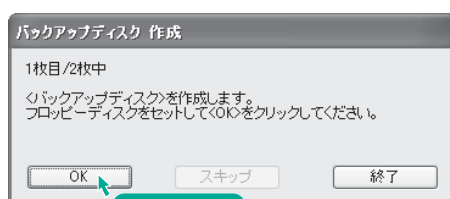
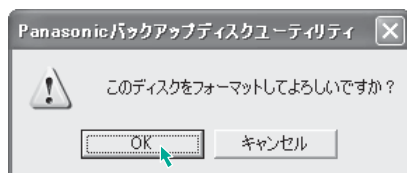
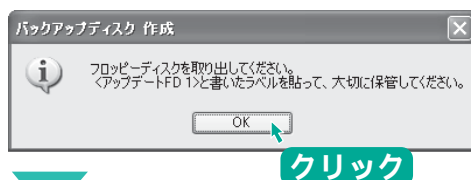
左記のような画面が表示された場合は「アップデート FD」を作成する必要はありません。

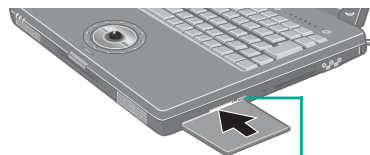
（次ページへ続く）

2 「アップデートFD」を作成する。

「アップデートFD」を2枚作成する場合を例にしています。

フロッピーディスクを入れる。

フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで確実に挿入する。

必要なデータが、ハードディスクからフロッピーディスクにコピーされます。

フロッピーディスクを取り出し、2枚目のフロッピーディスクを入れる。

［OK］をクリックし、メッセージに従う。（1枚目のときと同様の操作になります。）

お願い

フロッピーディスクドライブのアクセスランプ点灯中に、フロッピーディスクを取り出さないでください。

フロッピーディスクドライブアクセスランプ（ ）

できあがったアップデートFDには、ラベルを貼って「アップデートFD1」などの名称を書いて、付属のCD-ROMとともに大切に保管しておいてください。

パソコン

Windows の基本操作の勉強法

-本書のほかに、下記もご利用ください。-

●Windows XP には、「インタラクティブトレーニング」という画面上で見るヘルプ機能があります。知りたいメニューを選ぶと、画面と音声の両方で説明が始まります。

＜インタラクティブトレーニングの起動のしかた＞

①［スタート］メニューをクリックし、［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［Microsoft　インタラクティブ　トレーニング］と順にポインターを移動し、［Microsoft インタラクティブ トレーニング］をクリックする。

②コースを選んで［OK］をクリックする。

③知りたいメニューを選んで［ファイル］をクリックし、［開始］をクリックする。選んだメニューについての説明が始まります。
終了するときは、［ファイル］をクリックし、［停止］をクリックする。

●付属の Windows マニュアルもご覧ください。

●Windows についての説明書は市販品も多くあります。ご自分にあったものを選んでみるのもいいでしょう。

デスクトップ画面に表示されているもの

電源を入れて最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。

アイコン

アイコンには、アプリケーションを起動したり、ウィンドウを開いたりなど、それぞれに目的が割り当てられています。また、それぞれの働きにあわせた絵で表現されています。

 「使用していないアイコンがデスクトップにあります。」と表示された場合→   『一問一答集』「画面」

ポインター

トラックボール（マウスを接続している場合はマウス）の動きに合わせて動きます。通常は矢印()の形をしていますが、状況によって や などに変わります。

スタート

このメニューからいろいろな操作を始めます。[スタート]をクリックするとメニューが表示されるので、使いたいメニューを選びます。

言語バー

このバーを使って文字入力の切り換えや設定をします。

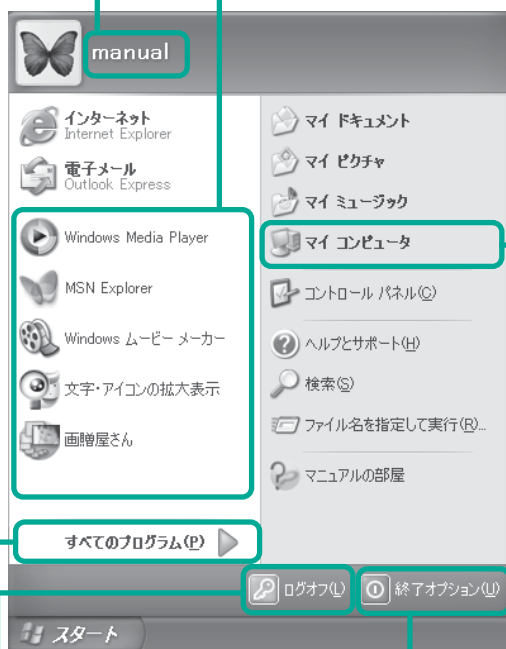
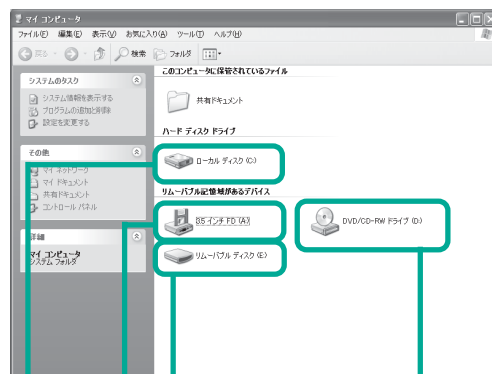
タスクバー

起動しているアプリケーションや開いているウィンドウの名前が表示されます。

また、右端の をクリックすると、音量調整などのアイコンが表示されます。

スタートメニューについて

現在ログオンしているユーザー名

よく使うアプリケーション一覧が自動的に表示されます。

このパソコンの中身を見ることができます。

終了時にクリックします。→19ページ

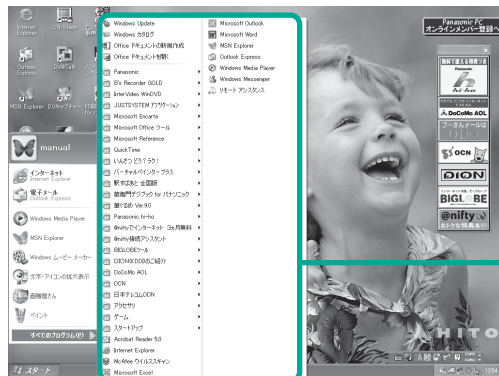
DVD/CD-RW ドライブ

SD メモリーカードなどをセットすると表示されます。

フロッピーディスクドライブ

ハードディスクドライブ(C ドライブ)
パソコンに必要なシステムやアプリケーションのフォルダーとファイルが保存されています。アプリケーションやシステムに関連するファイルなどを削除すると正常に動作しなくなることがありますので注意してください。

クリックすると、パソコンの電源を切ることなしに、ユーザーを切り換えることができます。

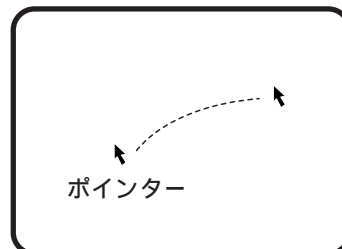
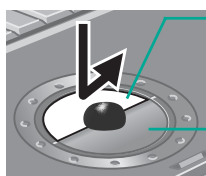
クリックすると、すべてのプログラムが表示されます。

クリックすると、アプリケーションが起動します。

パソコンの基本

トラックボールとクリックボタン

トラックボールとクリックボタンは、パソコンに指示を与えるためのものです。
パソコン操作をスムーズに行うために、トラックボールとクリックボタンの使いかたに慣れましょう。

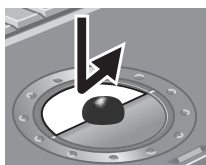
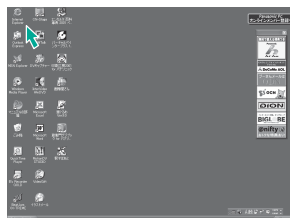
トラックボールをくるくる回すと

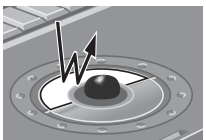
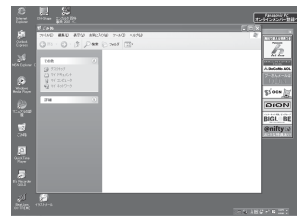
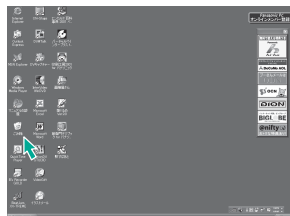
画面上のポインターが動く

ポインターを目的の位置に動かしたら、クリックボタンを押して決定

上ボタン（キーボード側）
マウスの左ボタンに対応しています。
通常、こちらのボタンを使います。

下ボタン
マウスの右ボタンに対応しています。

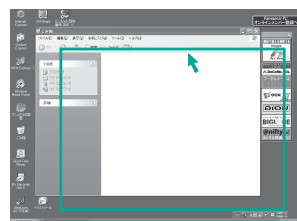
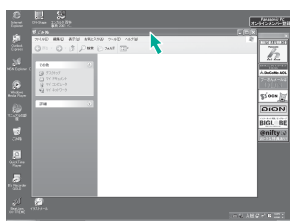
基本操作

クリック

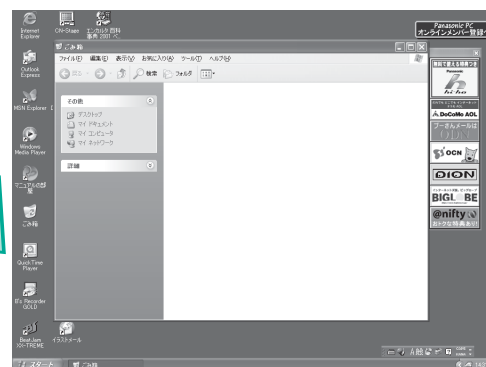
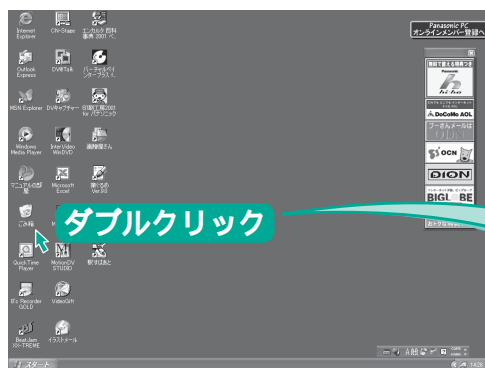
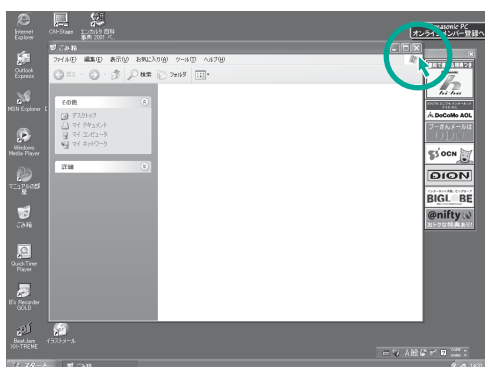
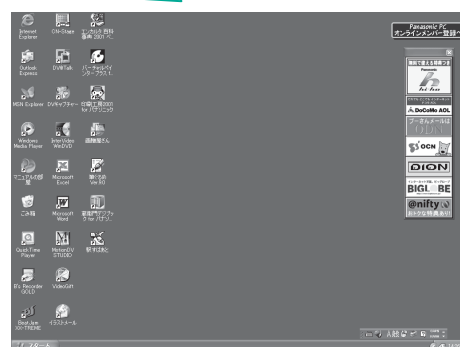
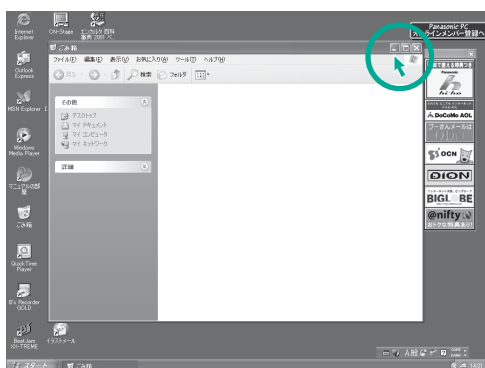
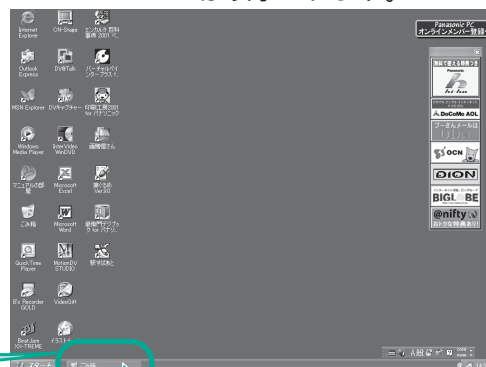
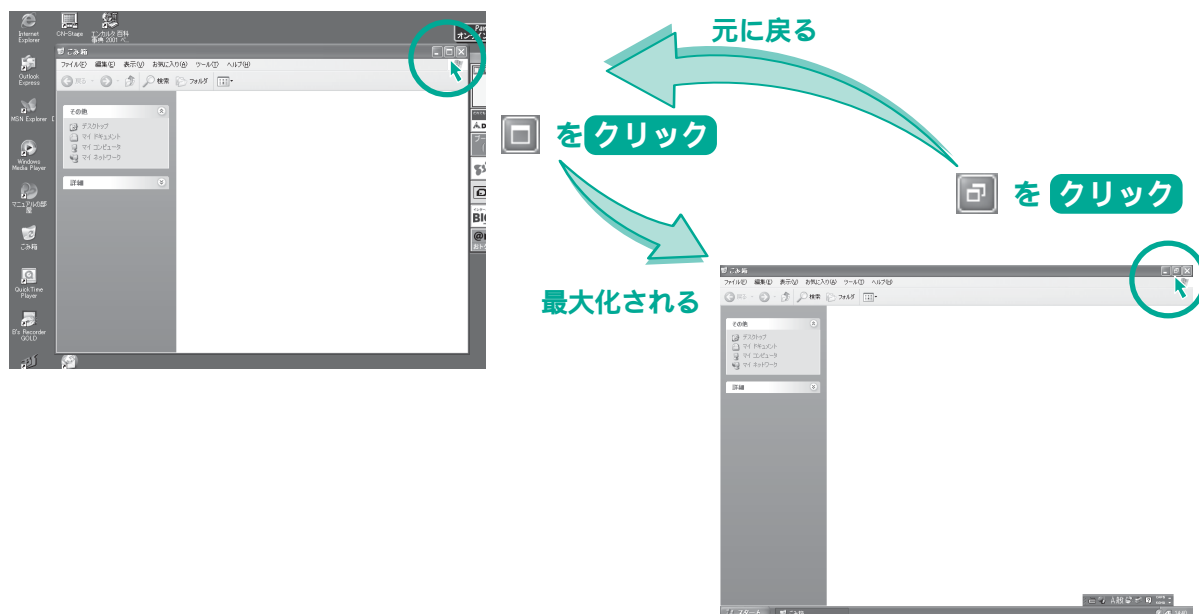
主にアイコンやメニューを選ぶときに使います。

上ボタンを１回押して離す。

ダブルクリック

主にアイコンを起動する（開く）ときに使います。

上ボタンをすばやく２回続けて押して離す。

ドラッグ

アイコンやウィンドウなどを動かしたり、範囲を指定したりするときに使います。

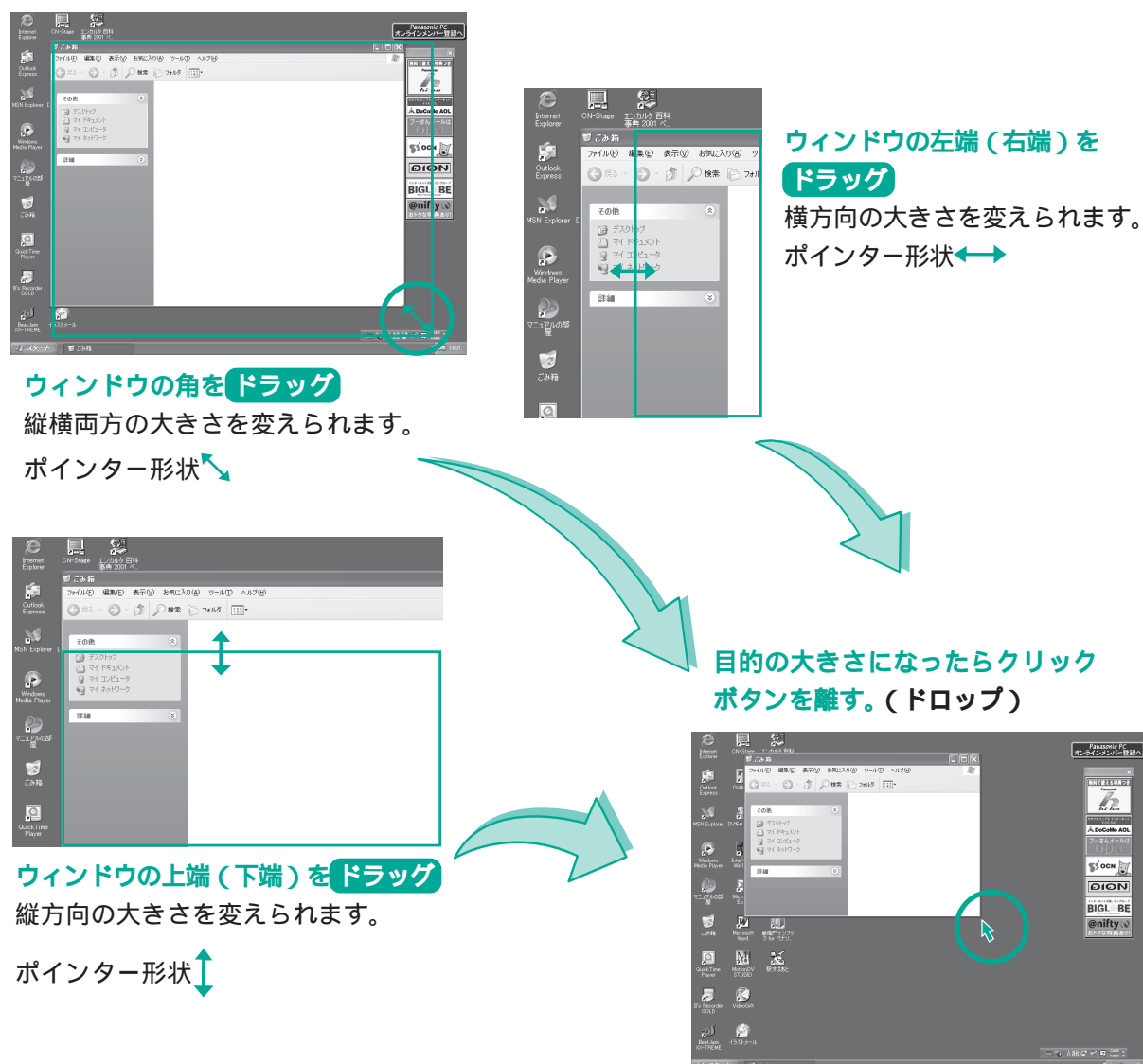
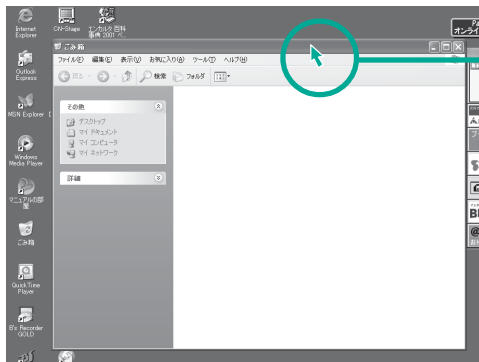
上ボタンを押したまま、トラックボールを回す。

ウィンドウの操作

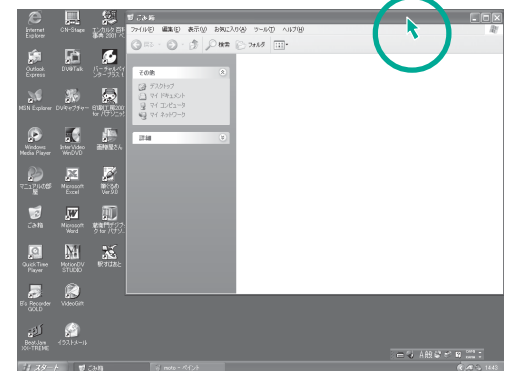
「ごみ箱」のウィンドウを例にして、練習してみましょう。

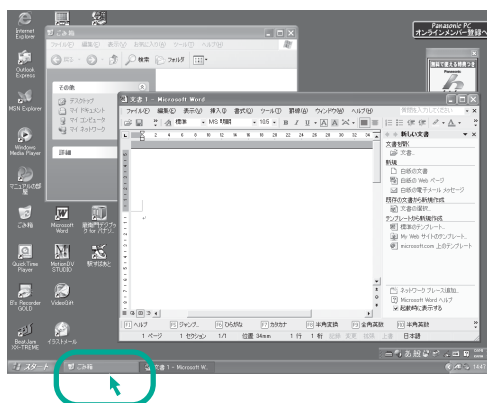
ウィンドウを開く

ウィンドウを閉じる

ウィンドウを最小化する（一時的に閉じる）

ウィンドウを最大化する（画面いっぱいに表示する）

ウィンドウの大きさを自由に変える

ウィンドウの角をドラッグ
縦横両方の大きさを変えられます。
ポインター形状

ウィンドウの左端（右端）をドラッグ
横方向の大きさを変えられます。
ポインター形状

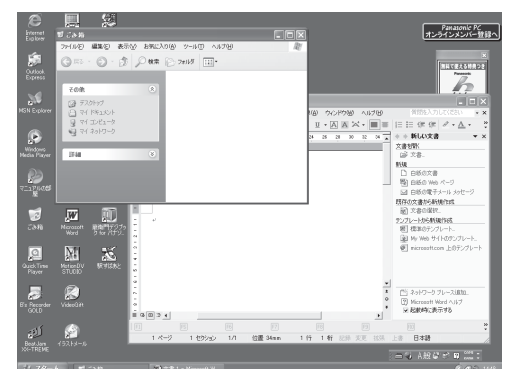
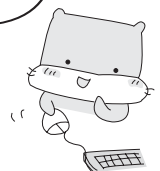
ウィンドウの上端（下端）をドラッグ
縦方向の大きさを変えられます。
ポインター形状

ウィンドウを移動する

タイトルバーにポインターをあわせて、移動したい方向に**ドラッグ**

目的の位置でクリックボタンを離す。（ドロップ）

ウィンドウの重なりかたを変える

（複数のウィンドウを開いている場合）

目的のウィンドウのタイトルを**クリック**

タイトルをクリックしたウィンドウが前面に表示されます。

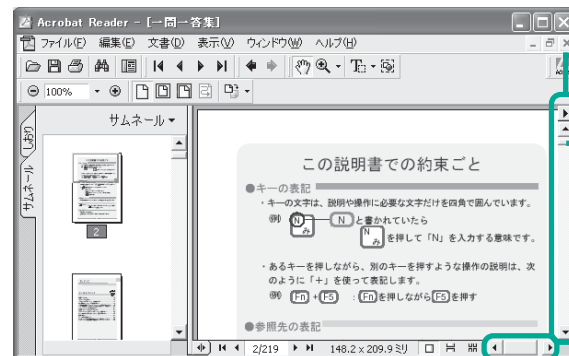
手前にしたいウィンドウが見えている場合は、その上にポインターを移動してクリックしても、手前に表示することができます。

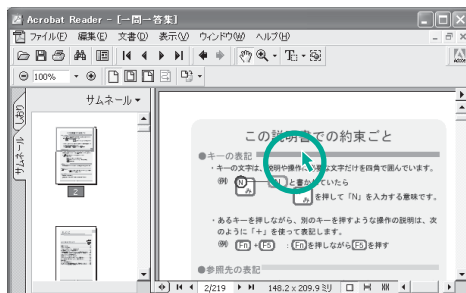
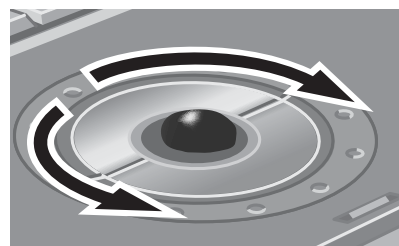
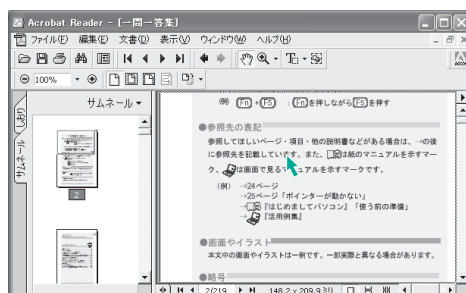
パソコンの基本

ジョグホイールを使ってみよう

ジョグホイールを使うと、スクロールバーの操作をより簡単に行うことができます。（アプリケーションによっては、違った操作が割り当てられている場合もあります。）

スクロールバーの操作とは

ウィンドウ内にすべての内容を表示できないときは、スクロールバーが表示されます。スクロールバーを操作して表示位置をずらし、ウィンドウの外に隠れている部分を表示できます。

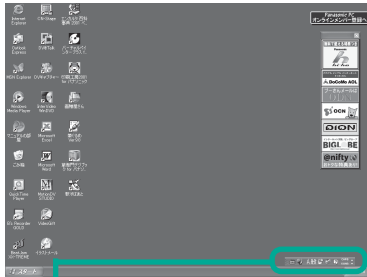
ウィンドウ

ジョグホイールを使うとこんなに便利！

スクロールしたい画面上にポインターを移動する

ジョグホイールを回す

スクロールバーが移動し、
隠れていた部分が表示されます。

下側に隠れた部分をみるとき
ジョグホイールを時計回りに回す。
上側に隠れた部分をみるとき
ジョグホイールを反時計回りに回す。

文字の入力練習をしてみよう

電子メールを書いたり、文書を作ったりなど、文字入力はパソコン操作にかかせません。文字入力にはキーボードを使います。キーボード操作は慣れるまでは難しいと感じるかもしれませんが、慣れてしまえば簡単です。ゆっくりと練習していきましょう。

入力の前に

言語バーをみてみましょう

言語バー

 をクリックして[OK]をクリックすると、言語バーがタスクバーに入ります。もう一度表示したいときは、タスクバー上の言語バーの をクリックしてください。

入力モード

日本語入力モード

ひらがなや漢字を入力する時に使います。

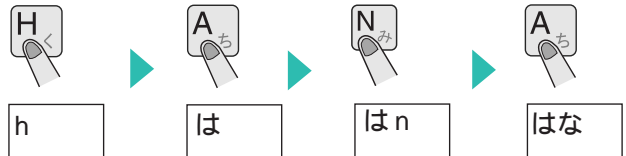
全角／半角を押すと切り換わる。

英数字入力モード

半角英数字を入力するときに使います。

入力方法の切り換え

ローマ字入力

ローマ字のつづりで「HANA」と押すと、「はな」と入力される。

Alt + ローマ字を押すと切り換わる。

かな入力

ひらがなで「はな」と押すと、「はな」と入力される。

（キー上のひらがなが直接入力されます）

キーの打ち分け

文字入力でよく使うキー

キー	説明
Enter（エンターキー）	・文字を確定する ・改行する
（スペースキー）	・カタカナや漢字に変換する ・空白を入れる
Back space（バックスペースキー）	・カーソルの左側の文字を消す ・改行を取り消す
Delete（デリートキー）	・カーソルの右側の文字を消す ・改行を取り消す
Shift（シフトキー）	他のキーと組み合わせて使う ・Shift を押しながらアルファベットキーを押すと大文字になる ・Shift を押しながら数字キーまたは Shift を押しながら特殊キーを押すと、上部に印字されている記号が入力される
← → ↑ ↓	カーソルを動かす
半角/全角	「日本語入力モード」と「英数字入力モード」を切り換える
Caps Lock/英数	・「日本語入力モード」のときに押すと、全角英数字を入力できるようになる。 ・Shift を押しながら Caps Lock/英数 →アルファベットキーを押すと、常に大文字になる。〔Caps Lock 状態（ A が点灯）といいます。この状態で小文字を入力したいときは、Shift を押しながらアルファベットキーを押す〕

→   『一問一答集』もご覧ください。

記号（~ _ \）や特殊記号を入力するには

●~（チルダ、ニョロ）、_（アンダーバー、アンダースコア）、\（バックスラッシュ）
「英数字入力モード」にしておいてください。→前ページ

記号	入力方法
~（チルダ、ニョロ）	Shift を押しながら ~ へ
_（アンダーバー、アンダースコア）	Shift を押しながら \ ろ
\（バックスラッシュ）	\ ろ *

*フォントによっては「¥」と表示されます。

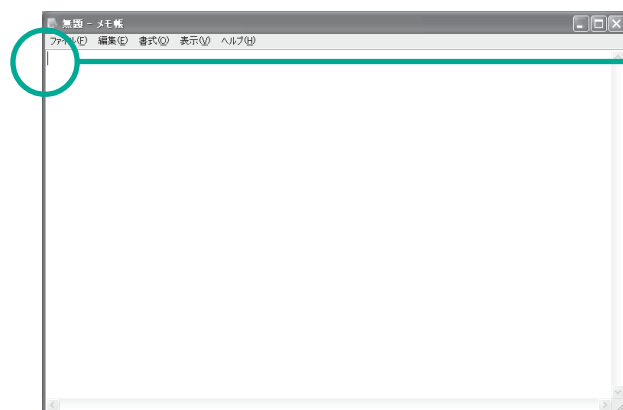
●欧文・学術・ギリシャ文字、一般記号(アッパーバー(￣)、々)など
「日本語入力モード」にしておいてください。→前ページ
「きごう」と入力し、スペースキーを 2 回押し、表示される一覧の中から目的の記号を選ぶ。

簡単な文章を入力してみる

文書を作るソフト「メモ帳」を使って、「ローマ字入力」で文字の入力練習をしてみましょう。

メモ帳を起動する。

2 ［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［メモ帳］をクリック

1 ［スタート］をクリック

カーソル
点滅している縦棒のことです。キーを押すと、この位置に文字が入ります。

パソコンの基本

ひらがなを入力する （例：はじめて、）

確認ポイント！ （→ 31 ページ）

 日本語入力モード　CAPS KANA ローマ字入力

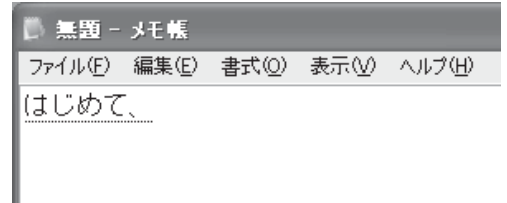
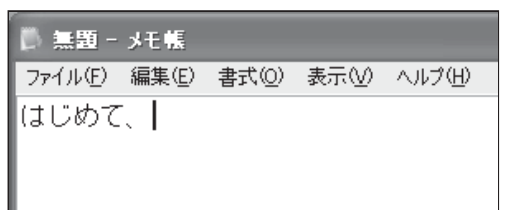
H A J I M E T E 、 と押す。

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
はじめて、

を押す。

（エンターキー）

文字が確定されます。

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
はじめて、

間違えたら Back space を押す
1回押すごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ消えます。

カタカナを入力する（例：パソコンに）

確認ポイント！ （→ 31 ページ）

 日本語入力モード　CAPS KANA ローマ字入力

P A S O K O N N N I

と押す。

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
はじめて、ぱそこんに

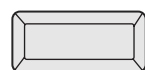
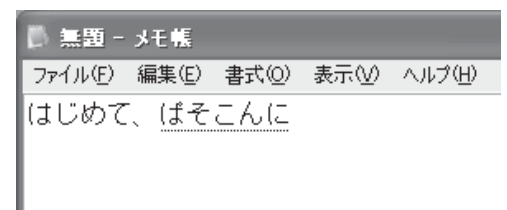
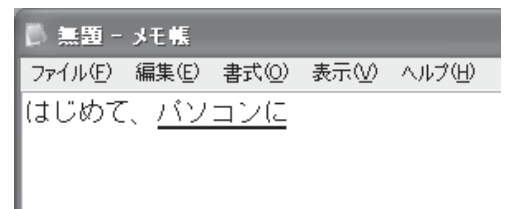
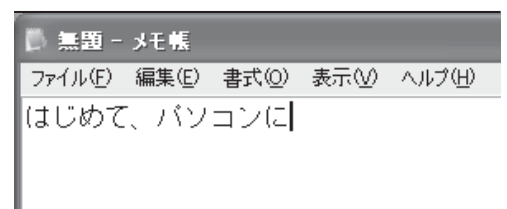
 を押す。

（スペースキー）

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
はじめて、パソコンに

を押す。

（エンターキー）

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
はじめて、パソコンに

漢字を入力する（例：触れる。）

確認ポイント！（→ 31 ページ）

（→ 31 ページ）

日本語入力モード

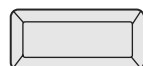
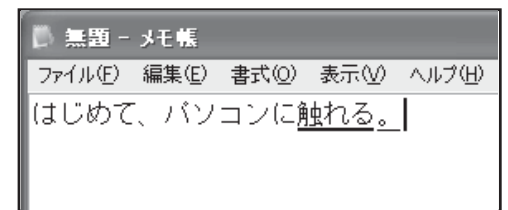
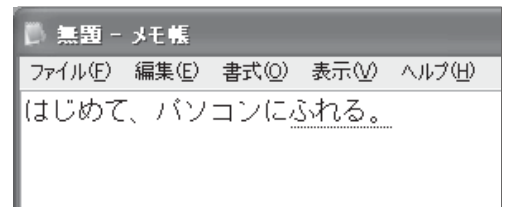
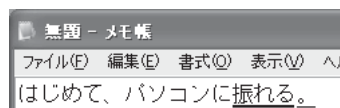
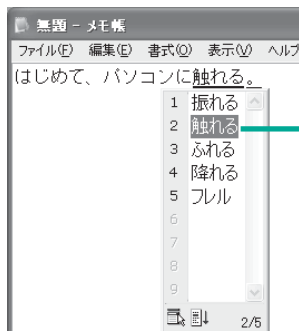
ローマ字入力

と押す。

はじめて、パソコンにふれる。

を押す。

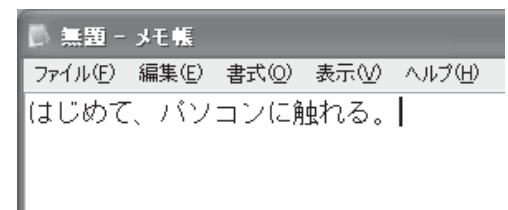
（スペースキー）

はじめて、パソコンに触れる。

目的の漢字がでなければ、

もう一度　を押す。

同じ読みの漢字一覧が表示されます。

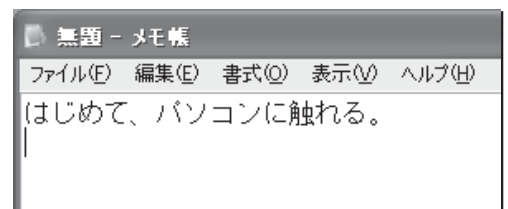
を何回か押して目的の漢字を選ぶ。

を押す。

（エンターキー）

はじめて、パソコンに触れる。

Enter を押す。

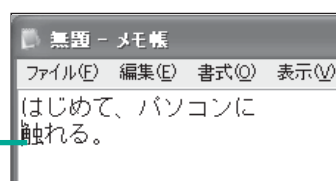
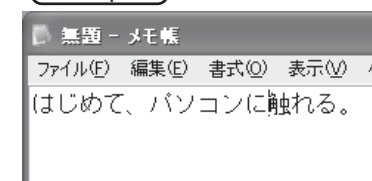
（エンターキー）

改行する（行を変える）。

はじめて、パソコンに触れる。

改行を取り消す場合

改行を取り消したいところにカーソルを移動して

Back space を押す。

パソコンの基本

英数字を入力する（例：Sunday, April 17）

確認ポイント！（→ 31 ページ）

英数字入力モード

大文字で「S」と入力する。

Shift を押しながら を押す。

無題 - メモ帳
ファイル(F)　編集(E)　書式(O)　表示(V)　ヘルプ(H)
はじめて、パソコンに触れる。
S

と押す。

無題 - メモ帳
ファイル(F)　編集(E)　書式(O)　表示(V)　ヘルプ(H)
はじめて、パソコンに触れる。
Sunday,

Shift を押しながら A を押して、

と押す。

無題 - メモ帳
ファイル(F)　編集(E)　書式(O)　表示(V)　ヘルプ(H)
はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

文章を修正する

入力練習でつくった文章(→ 33 ページ)を修正してみましょう。

修正の例題

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

Monday, April 17
はじめて、パソコンに触れる。

文字列を移動する（例：Sunday, April 17 を文頭に移動する。）

「S」の前にカーソルを置く。

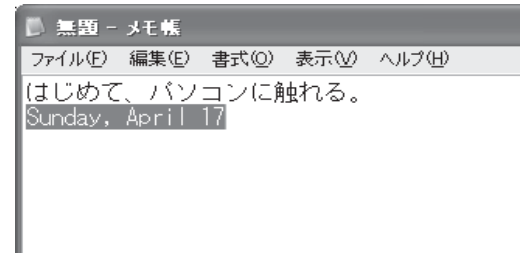
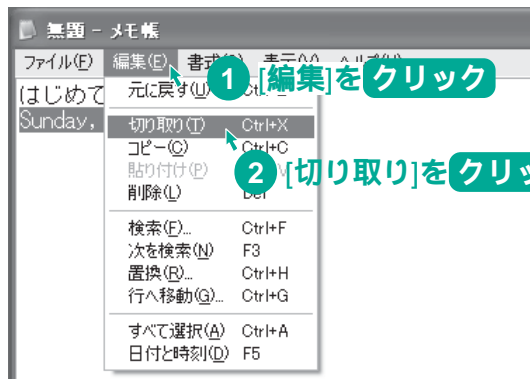
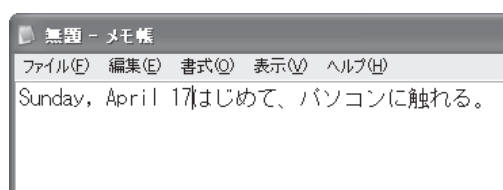
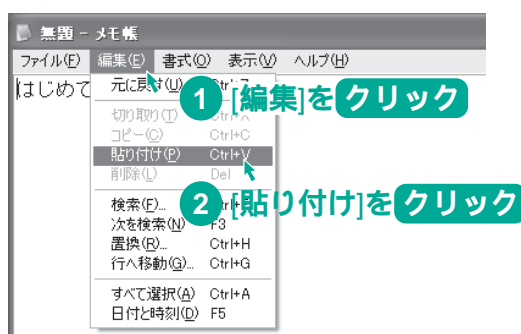
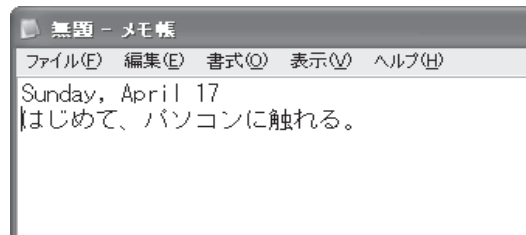
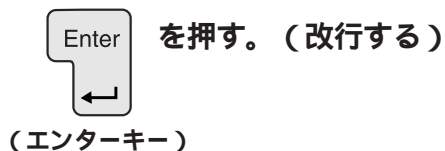
カーソル

無題 - メモ帳
ファイル(F)　編集(E)　書式(O)　表示(V)　ヘルプ(H)
はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

上ボタンを押したままトラックボールを動かして「Sunday, April 17」を選択する。

「は」の前にカーソルを置く。

Enter を押す。（改行する）

（エンターキー）

文字を修正する　（例：SundayをMondayに修正する。）

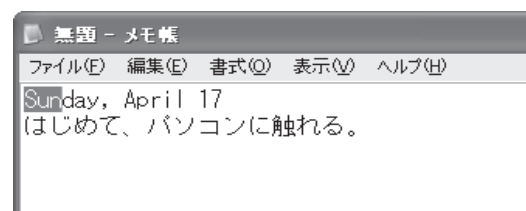
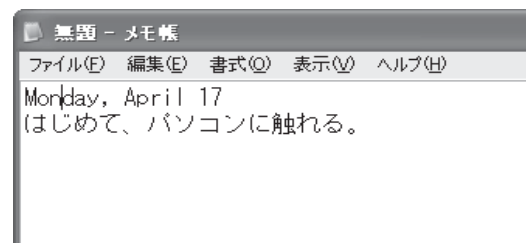
確認ポイント！（→31ページ）

英数字入力モード

「Sun」を選択する。

Shiftを押しながらMを押して、

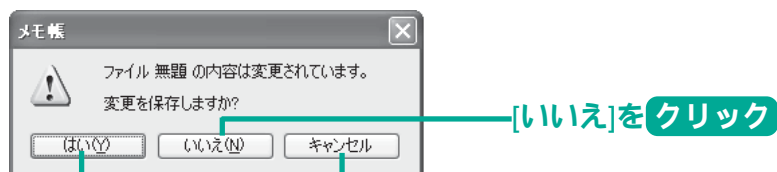
O N と押す。

無題 - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
Monday, April 17
はじめて、パソコンに触れる。

この文章をパソコンの中に保存してみましょう→次ページ

保存しないで、文字の入力練習を終わる場合

メモ帳を終了する。

×をクリック

[いいえ]をクリック

終了せずに元の画面に戻ります。

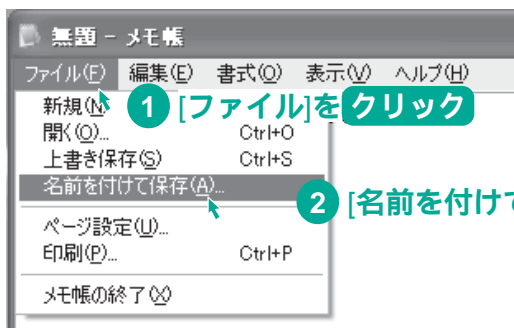
「保存」画面が表示されます。（→次ページ）

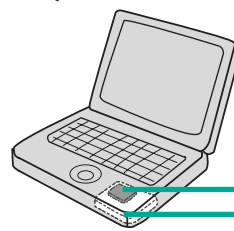
作ったものを保存しよう

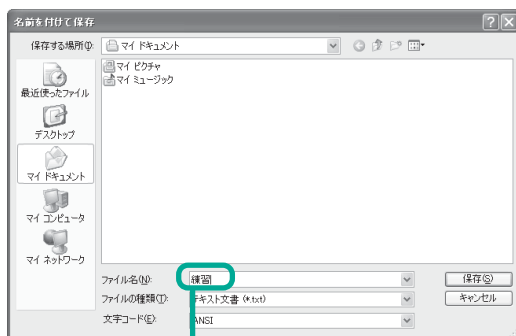
文章を保存する

せっかく作った文章も「保存」という操作をしなければ、メモ帳を閉じたり、パソコンの電源を切ったりすると消えてしまいます。作ったものを「ファイル」として保存しておけば、いつでも使いたいときにその文章を取り出すことができます。
ここでは、文字の入力練習で作った文章を保存してみましょう。

パソコンの中に保存する

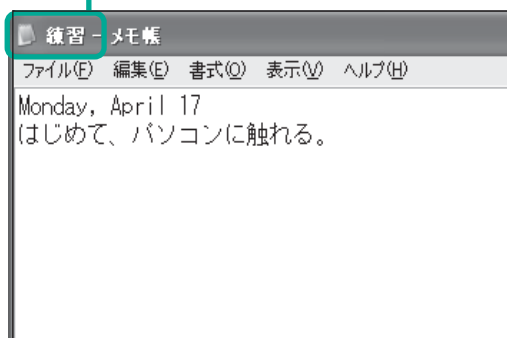
1 保存のしかたを選ぶ。

2 保存場所を選ぶ。

ここでは「マイドキュメント」というフォルダー（整理箱のようなもの）に保存します。

「保存する場所」が「マイドキュメント」になっていないときは

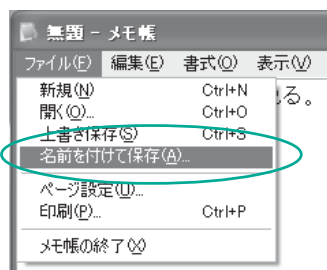
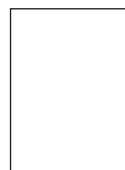
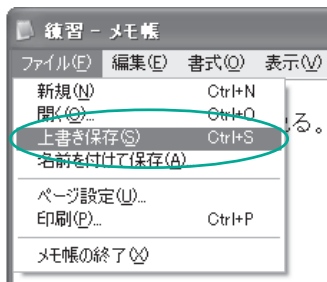
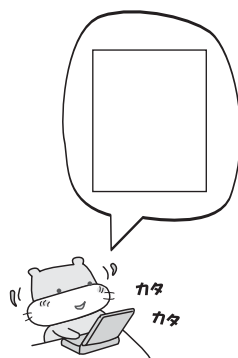
3 保存ファイル名を入力する。

例として「練習」と入力する。
（入力のしかたは→ 31 ページ「文字の入力練習をしてみよう」）

4 保存する。

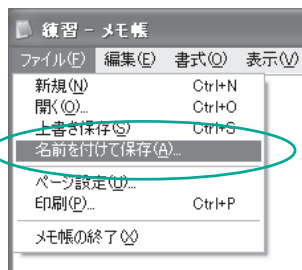
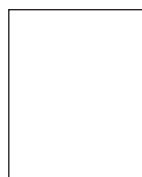
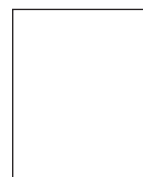
[保存]をクリック

ファイル名が表示されます。

メモ帳のウィンドウを閉じるには
→ 38 ページ

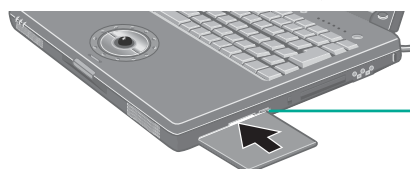
「上書き保存」と「新規保存」の違い

はじめて保存するときは(新規保存)

文章を修正したあとに保存するときは

ファイル名はそのままで、内容だけを新しいものに置き換えます。

元のファイルは残しておいて、別のファイルとして保存したいときは

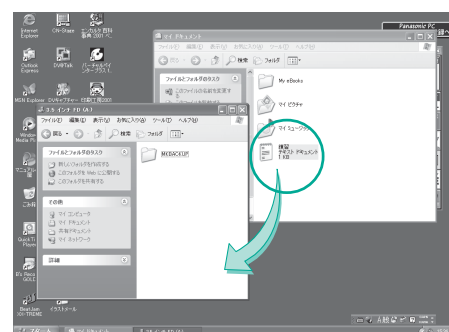
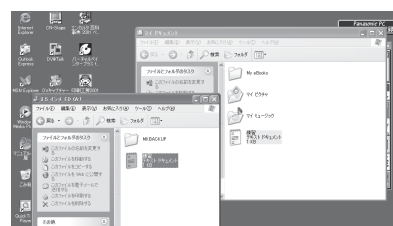
パソコンの基本

バックアップ（コピー）をとる

パソコンの中に保存したデータは、万一の場合に備えてフロッピーディスク、CD-R または CD-RW などにバックアップ（コピー）しておきましょう。
ここでは、パソコンの中に保存した「練習」ファイル（→ 39 ページ）をフロッピーディスクにバックアップ（コピー）します。

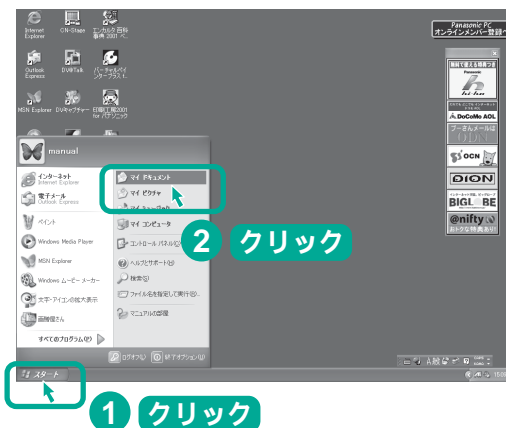
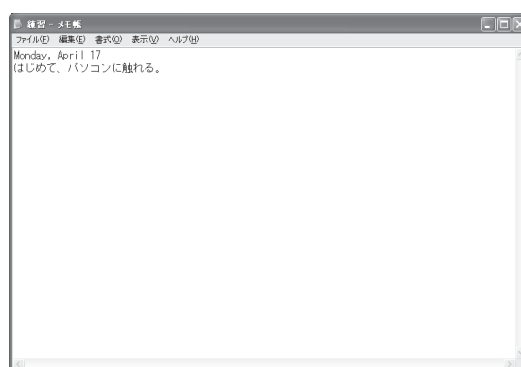
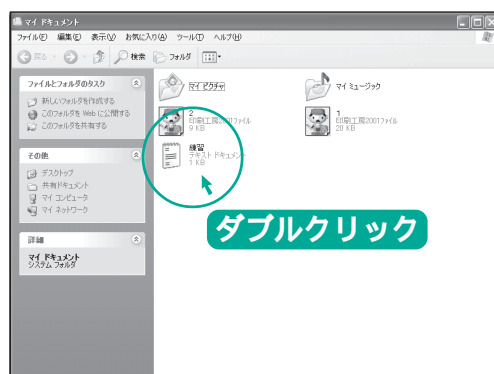
1 「スタート」→［マイドキュメント］をクリックする。

2 フロッピーディスクを入れる。

3 フロッピーディスクドライブのウィンドウを開く。

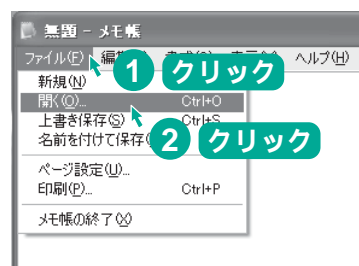
CD-R、CD-RW に保存する場合は DVD/CD-RW ドライブ(D:)をクリックしてください。
詳しくは→ 『一問一答集』

4 「練習」ファイルをドラッグする。

「マイドキュメント」からフロッピーディスクにファイルがコピーされます。

保存したファイルを開く

保存した文章を画面上に呼び出すことを「ファイルを開く」といいます。
ここでは、「マイドキュメント」フォルダーの中に保存した「練習」ファイル（→39ページ）を開いてみましょう。

1 「スタート」→「マイドキュメント」をクリックする。

2 「練習」ファイルのアイコンをダブルクリックする。

メモ帳が自動的に起動し、「練習」ファイルが表示されます。

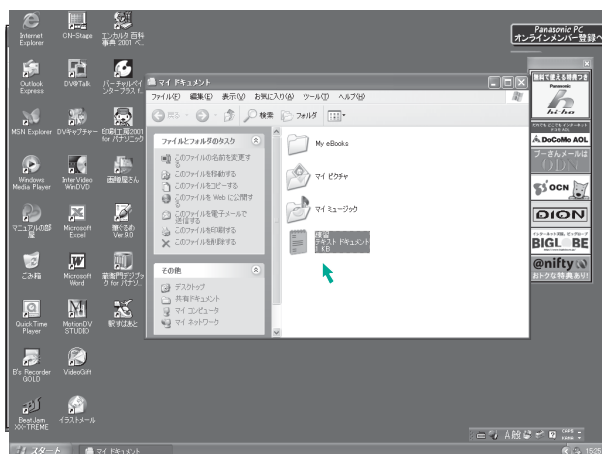
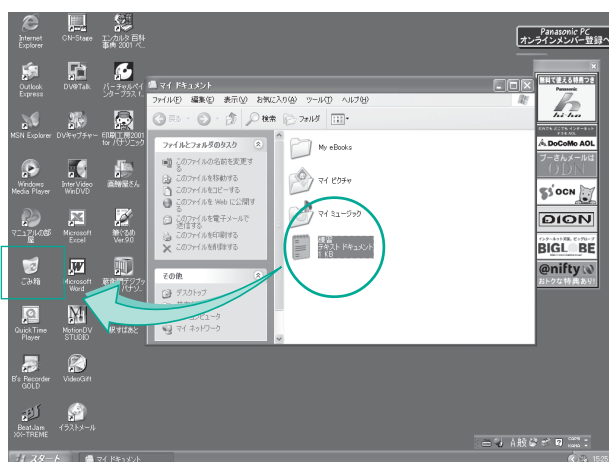
他の開きかた
メモ帳を起動して（→33ページ）、そこからファイルを開くこともできます。

パソコンの基本

いらないファイルを消す

ファイルを「ごみ箱」へドラッグ（移動）すると、ファイルを消したことになります。
フォルダーごとドラッグ（移動）すると中のファイルも消されます。

1 消したいファイルを選ぶ。

2 「ごみ箱」にドラッグする。

お願い

元からパソコンに入っているフォルダーやファイルは、絶対に消さないでください。消してしまうと、Windows が起動できなくなったり、パソコンが正常に動作しなくなったりします。

他の消しかた

消したいファイルを選んだ後、キーボードの Delete を押しても、消す（「ごみ箱」に入れる）ことができます。

「ごみ箱」の中身を見るには

「ごみ箱」にポインターをあわせて、ダブルクリックすると中身を確認できます。

「ごみ箱」の中のファイルを完全に消すには

「ごみ箱」へドラッグしたファイルは、「ごみ箱を空にする」まで「ごみ箱」の中に残っています。ファイルを完全に消すには、「ごみ箱」をダブルクリックして、「ファイル」→「ごみ箱を空にする」をクリックし、確認メッセージが表示されたら［はい］をクリックしてください。

パソコンを楽しむ

各部の紹介

各部の名称と働きおよび AV 関連周辺機器(別売り)とのつながりについて紹介します。

- **働きについて詳しくは→ 『活用例集』、『一問一答集』**
- **接続のしかた、使いかたなどについては、各周辺機器の説明書をご覧ください。(『活用例集』や『一問一答集』に関連事項が記載されているものもあります。)**

前面／右側面

ディスプレイ
LCD **パネルともいう。**

電源ボタン
押すとパソコンの電源が入る。(通常、終了時は使用しないでください。)

キーボード

ジョグホイール
上ボタン
トラックボール
下ボタン
→ 26,30 **ページ**

スピーカー

フロッピーディスクドライブ

i.LINK 端子 S400
IEEE1394 **端子**(S400)*1

PC カードスロット
PC Card Standard **規格に準拠したカード用スロット**

オーディオ出力端子 / 光デジタル音声出力端子 /OPT OUT

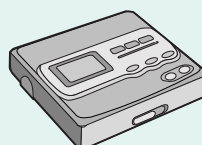
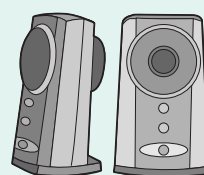
接続コード

スピーカー

ヘッドホン

光デジタルケーブル

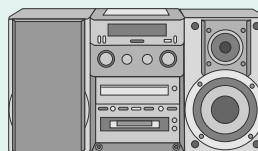
光入力デジタル端子

MD レコーダー（光入力端子付き、サンプリング周波数が 48kHz 対応のもの）

マイク入力端子

ライン端子 LINE IN

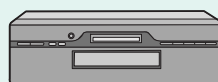
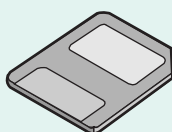
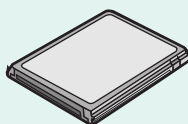
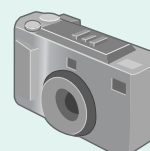
音声出力端子

接続ケーブル（ステレオミニジャック）

オーディオ機器（オーディオ出力端子付き）

*1 本機の i.LINK 端子（S400）と i.LINK 端子〔S200（TS)〕（BS デジタルテレビや BS デジタルチューナーなどに搭載されています）の間で、データをやりとりすることはできません。

デジタルビデオカメラ

デジタルビデオデッキ

DV ケーブル

スマートメディア[*2]

コンパクトフラッシュカード[*2]

デジタルスチルカメラ

*2 パソコンにつなぐには、別途、PC カードアダプターが必要です。

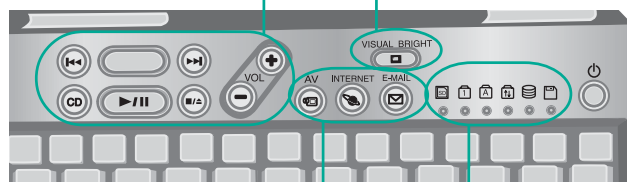
パソコンを楽しむ

前面／左側面

CDプレーヤー操作ボタン

起動中は (CD) が緑色に点灯します。

ビジュアルブライトボタン

押すごとに「ビジュアルモード」（緑色に点灯）→「シネマモード」（オレンジ色に点灯）→オフと画面を切り換えます。工場出荷時は「ビジュアルモード」に設定されています。詳しくは→ 『一問一答集』

アプリケーションボタン

左から順に
- AVボタン
- INTERNETボタン
- E-MAILボタン

起動中は緑色に点灯

状態表示ランプ

HDDアクセスランプ など、パソコンの状態を表す状態表示ランプ各種

DVD-ROM&CD-R/RW一体ドライブ

SD/マルチメディアカードスロット

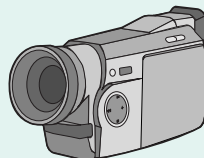
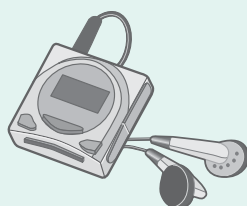
SDメモリーカード *

マルチメディアカード(MMC)*

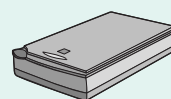
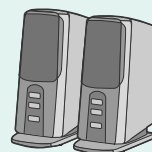
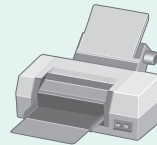
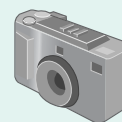
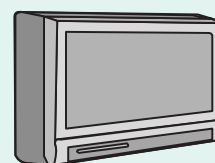
*取り扱い・セットのしかた→ 『一問一答集』

SDオーディオプレーヤー

デジタルスチルカメラ

デジタルビデオカメラ

<状態表示ランプ>

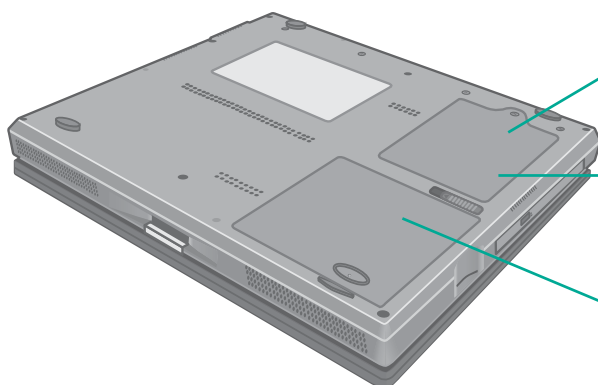
バッテリー状態表示ランプ
電源表示ランプ
ACアダプター接続ランプ DC

背面

*音声を聞きたい場合は、パソコンのオーディオ出力端子とテレビの音声入力を音声ケーブルでつないでください。

底面

内蔵モデムスロット
内蔵モデムがセットされています。

RAM モジュールスロット
RAM モジュール（メモリーカード）をセット。

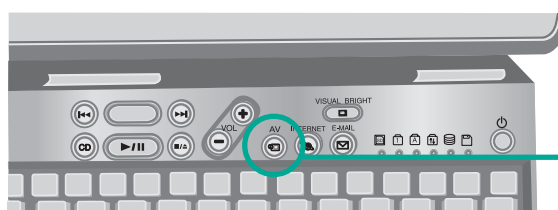
バッテリーパック
専用の充電式電池のこと。

パソコンで広がる世界

パソコンがあると、趣味の世界がどんどん広がる。
インターネットにメール。
音楽をきいたり、マイベスト CD をつくったり。
映画だってみることができる。

お気に入りのショットをパソコン上のアルバムで整理したり、
住所録を管理したりすることができる。
日々の暮らしがより便利で楽しいものになる。

さあ、あなたもパソコンの世界の扉をあけてみよう。

AV ボタンメニューで音楽や写真・映像を楽しむ

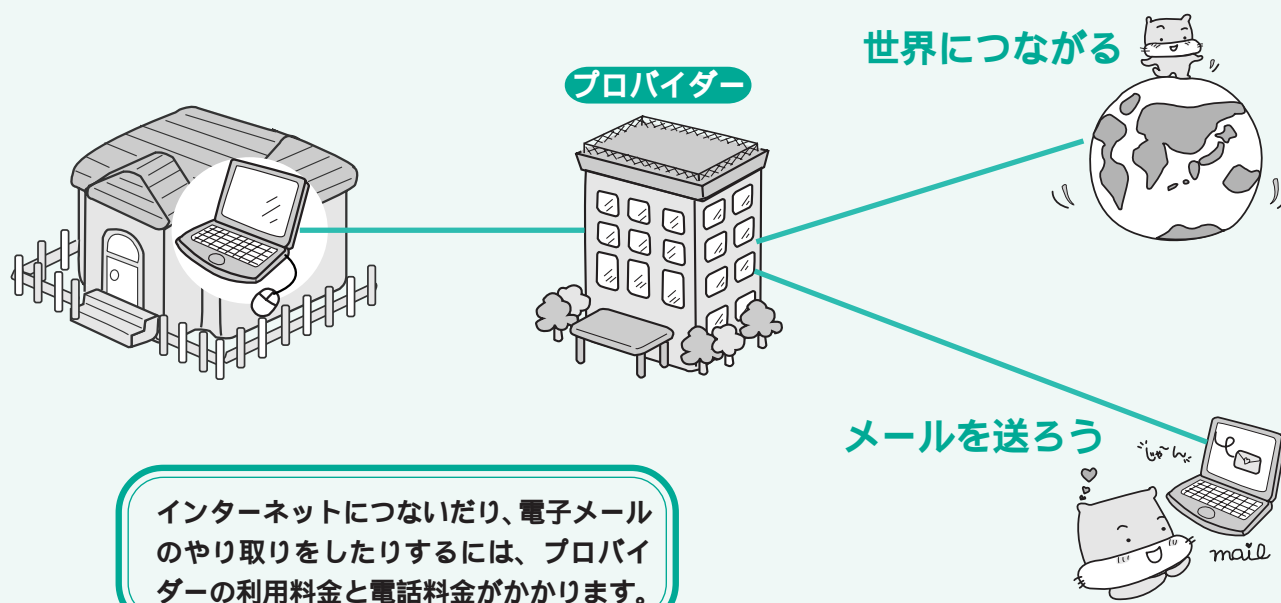
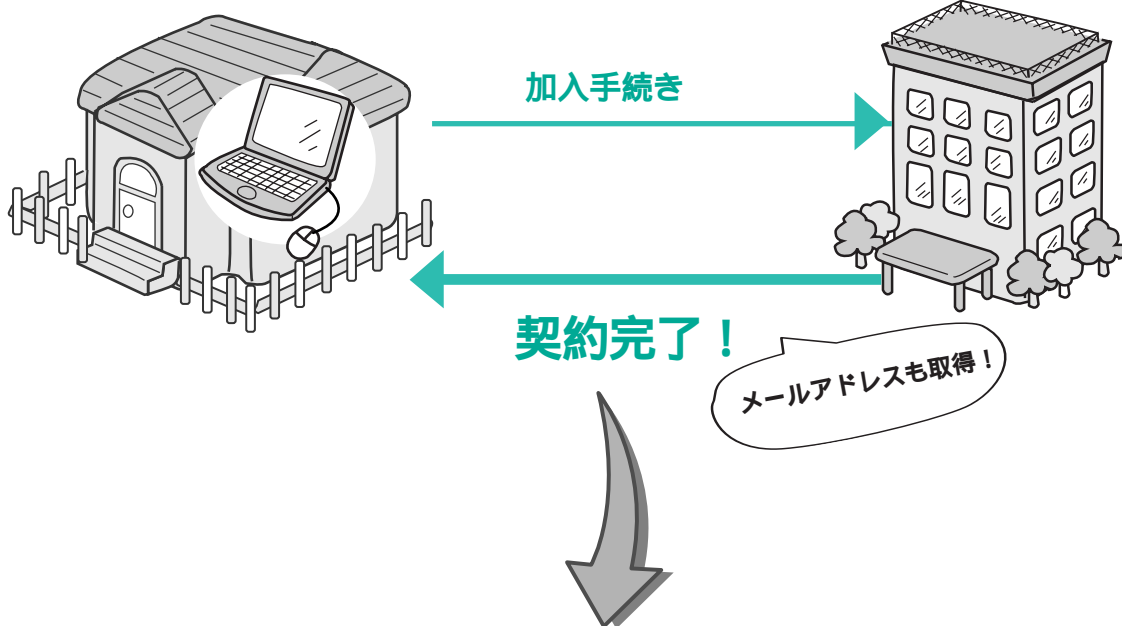
AV ボタンを押すと「AV ボタンメニュー」画面が表示され、選んだ項目に応じたアプリケーションが起動します。

AV ボタン、AV ボタンメニューについて詳しくは ▶ 59 ページ、 『活用例集』をご覧ください

インターネット・メール

インターネットは世界的規模のコンピューターネットワークです。パソコンをインターネットにつなぐと、さまざまな情報の入手や電子メールのやり取りが可能になります。

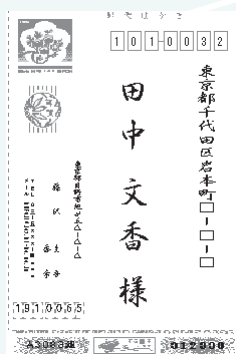
プロバイダーに加入

いずれかのプロバイダー（インターネット接続サービス会社）に加入しましょう。

インターネットにつないだり、電子メールのやり取りをしたりするには、プロバイダーの利用料金と電話料金がかかります。

インターネットへ接続するには
電子メールを送るには

 『活用例集』をご覧ください

暮らしの中で使える機能いろいろ

“ はがきをつくりたい ”

『活用例集』「はがき作成」

使用ソフト　筆ぐるめ

作成した住所録から呼び出すだけで、簡単にあて名が書ける。
裏面もサンプルレイアウトから気に入ったものを選んで、文字を書き換えたり、イラストを入れ換えたり。今年の年賀状づくりが楽しみ。

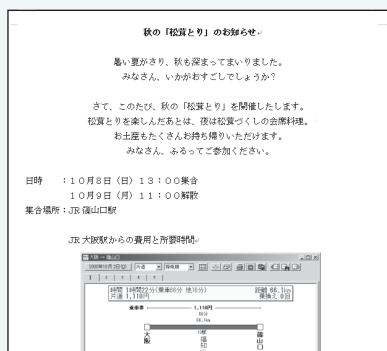
“ 文書をつくりたい ”

秋の「松茸とり」のお知らせ

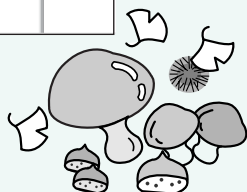
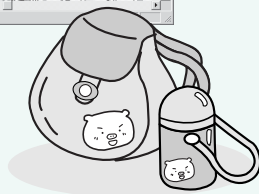
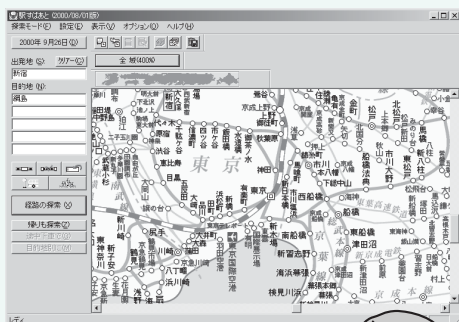
暑い夏がさり、秋も深まってまいりました。
みなさん、いかがおすごしでしょうか？

さて、このたび、秋の「松茸とり」を開催いたします。
松茸とりを楽しんだあとは、夜は松茸づくしの会席料理。
お土産もたくさんお持ち帰りいただけます。
みなさん、ふるってご参加ください。

日時　　：１０月８日（日）１３：００集合
　　　　　１０月９日（月）１１：００解散
集合場所：JR 篠山口駅

JR 大阪駅からの費用と所要時間

付属別紙『Microsoft® Office XP Personal のご案内』
アプリケーションパックに付属の説明書

使用ソフト　Microsoft® Office XP Personal

文書作成ソフト「Microsoft® Word」や表計算ソフト「Microsoft® Excel」を使えば、みんなに配るような資料や、計算するのが面倒な書類もスイスイつくることができる。

“ 時刻表や運賃を調べたい ”

『活用例集』「経路・時刻・運賃の探索」

使用ソフト　駅すぱあと

出発地と目的地を入力するだけで、最適な経路・所要時間・運賃を調べられる。また、出発時刻や到着時刻を入力すると、希望にあうダイヤを教えてくれたり。旅行やお出かけのプランを練るときにとっても便利。（時刻表・運賃は2001年7月3日現在のものです。その後、変更されている場合もあります。ソフトのバージョンアップについては、付属別紙をご覧ください。）

“ CDやビデオのラベルをつくりたい ”

『活用例集』「ラベルやシールの作成」

使用ソフト　印刷工房 2001 for パナソニック

フォームに入力するだけでCDやビデオのラベルがすぐにつくれる。

“ 調べものをしたい ”

Microsoft® Encarta® 百科事典 2001 Basicに付属の説明書

使用ソフト　Microsoft® Encarta® 百科事典 2001 Basic

イラストや写真入りの分かりやすい説明で、知りたいことがすぐに調べられる。関連する項目も見ることができるので、新しい知識をどんどん吸収できる。

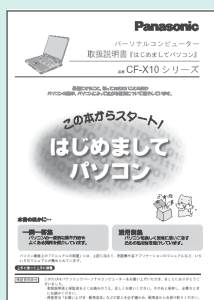
※お使いになるときは、アプリケーションパックに付属のCDを ドライブに入れてください。

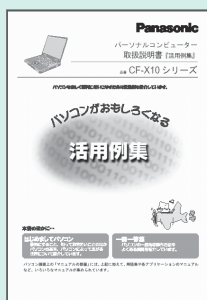
パソコンを楽しむ

説明書を活用する

どんな説明書があるの？

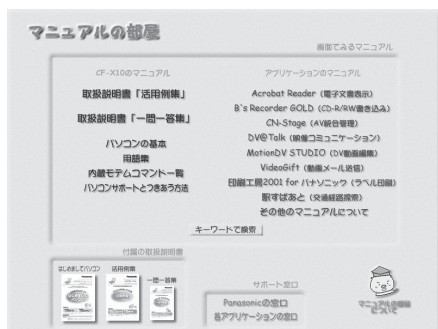
紙の取扱説明書

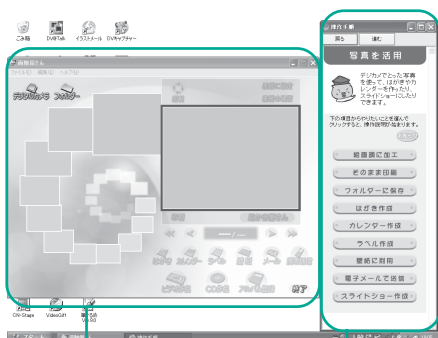
はじめましてパソコン

パソコンの基本操作
必ずしていただきたいこと
知っておいていただきたいこと
を説明しています。

活用例集 ダイジェスト版（通信・音楽・画像）

インターネット・電子メール
音楽・デジカメやデジタルビデオカメラなどの画像を扱う
主な機能を説明しています。

一問一答集

このパソコンの各部の説明
パソコンの一般知識や拡張
困ったときの対処法などを
Q&A形式で説明しています。

マニュアルの部屋

パソコンに搭載されている各種マニュアルやお問合せ先の情報などを、画面上で見ることができます。
（詳しくは→ 56、57 ページ）

AV ボタン連携マニュアル（AV ボタンから初級モードで起動したときのみ）

アプリケーション　操作手順

音楽や画像関連のアプリケーションを用途別に選んで起動できる AV ボタンメニューでは、操作手順も同時に表示されるので、操作に慣れていない方も安心です。
（→ 59 ページ）

説明書の表記の約束

<キーの表記>

・キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。

・あるキーを押しながら、別のキーを押すような操作の説明は、次のように「+」を使って表記します。

（例） Fn + F5 ：Fn を押しながら F5 を押すという意味です。

<参照先の表記>

・同じ説明書内の異なるページを参照していただきたい場合：

矢印（→）の後に続けてページやタイトルを記載します。

（例）→●ページ

→「使う前の準備」

・紙の取扱説明書を参照していただきたい場合：

→ の後に参照先を記載します。

・「画面で見るマニュアル」を参照していただきたい場合：

→ の後に参照先を記載します。

（例）→ 『パソコンの基本』

・紙の取扱説明書と「画面で見るマニュアル」のいずれかを参照していただきたい場合：

（例）→ 『一問一答集』

< DVD-ROM&CD-R/RW 一体ドライブの表記>

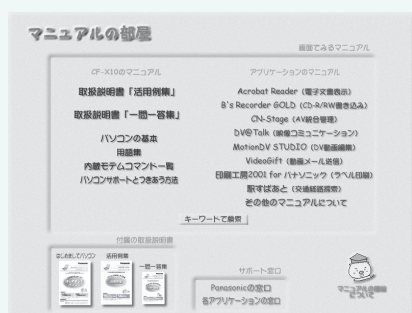
本文中では、「ドライブ」と表記します。

パソコンを楽しむ

マニュアルの部屋

パソコンに搭載されている各種マニュアルやお問合せ先の情報などを、画面上で見ることができます。

1 デスクトップの （マニュアルの部屋アイコン） **をダブルクリックする。**

はじめて「マニュアルの部屋」を起動したときは、Acrobat Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容をよく読み、[同意する]をクリックしてください。

2 見たいマニュアルや項目を クリック

付属のマニュアル

紙の取扱説明書について簡単に紹介しています。

以下のメッセージが表示される場合、マニュアルのファイルが正しいフォルダーに配置されていないことを意味しています。

この場合、以下の操作を行ってください。

<CF-X10のマニュアルの場合>

エラーメッセージに表示されているファイルを付属のアプリケーションCD-ROM2のmanualフォルダーの中から探し、C:￥utli￥manualフォルダーにコピーしてください。

<アプリケーションのマニュアルの場合>

アプリケーションをインストールしなおしてください。
このときインストール先を変更しないでください。

→ 『一問一答集』「アプリケーションをインストールしなおすには」

画面でみるマニュアル

<CF-X10のマニュアル>
- 活用例集　：本機に搭載されている、音楽や画像、はがきやラベル作成、百科辞典などアプリケーションの基本操作を具体例を通して説明しています。〔紙の『活用例集』（ダイジェスト版）はこの中から通信と音楽・画像の主な機能を抜き出しています。〕
- 一問一答集　：紙の取扱説明書の『一問一答集』と同じものを画面上でも参照できます。
- パソコンの基本：紙の取扱説明書の『はじめましてパソコン』「パソコンの基本」と同じものを画面上でも参照できます。
- 用語集　：パソコンの専門用語や略語をやさしく解説しています。
- 内蔵モデムコマンド一覧
：専用のコマンドを使って通信するときにご覧ください。
- パソコンサポートとつきあう方法
：パソコンを初めてお使いのかたに、ご相談窓口の上手な利用法などを紹介しています。

<アプリケーションのマニュアル>
各アプリケーションに用意されているオンラインマニュアルを見たいときに便利です。

サポート窓口

- Panasonic の窓口：　商品､修理についてのお問い合わせ先を掲載しています。アプリケーションについてのお問い合わせは「アプリケーションの窓口」をご覧ください。
- 各アプリケーションの窓口：　各アプリケーションについてのお問い合わせ先を掲載しています。ここに掲載のないアプリケーションは、「Panasonic の窓口」をご覧ください。

「画面でみるマニュアル」の見かた（Acrobat Readerの操作）

「画面でみるマニュアル」（オンラインマニュアル）がPDF形式の場合〔マニュアルを起動するとAcrobat Reader（アクロバットリーダー）が起動する場合〕、次のようにして目的のページを開いたり、表示の大きさを調節したりします。

文字検索（開いているファイル内を検索します。）

ページ移動

操作の取り消し・やり直し

表示部分の移動(手のひらツール)

拡大表示

表示サイズ変更

閉じる

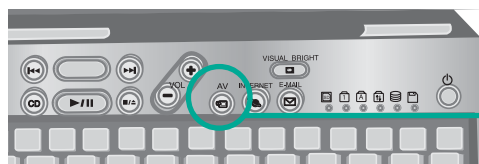
ページの確認
ここでページを確認できます。

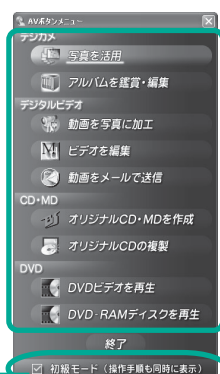
（画面は予告なく変更する場合があります。）

・はじめて「画面でみるマニュアル」を起動したときは、Acrobat Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。
・表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
・Acrobat Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。

AV連携マニュアル（AVボタンから初級モードで起動したときのみ）

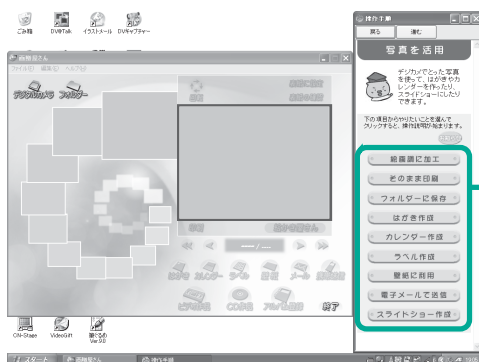
音楽や画像関連のアプリケーションを用途別に選んで起動できるAVボタンメニューでは､｢初級モード」に設定しておくと、操作手順も同時に表示されます。画面上で手順を見ながら操作できるので慣れていない方も安心です。

＜起動方法＞

1 AVボタン（ ）を押す。

2 「初級モード」にチェックマーク ☑ が付いていることを確認する。
付いていない場合は、ここをクリックします。

3 目的のメニューを **クリック**

AV メニューから複数のアプリケーションを起動すると、最後に起動したアプリケーションの手順が表示されます。

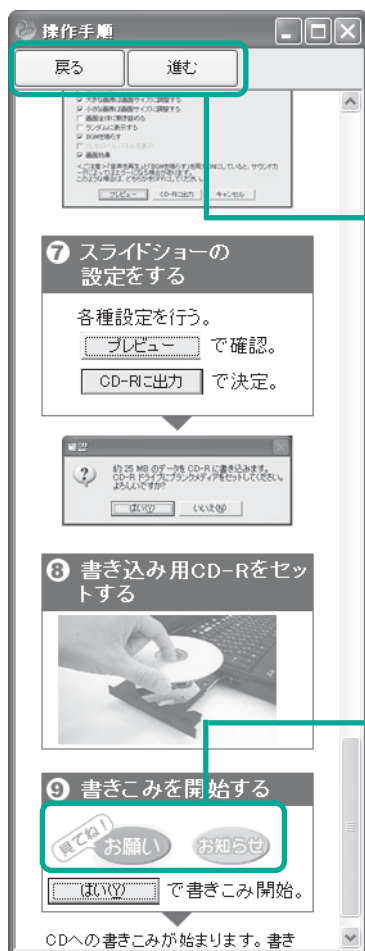
＜使いかた＞

「写真を活用」の例

メニューの中から操作したいことを選ぶ。
（機能によってはメニューのないものがあります。）

ムービー

＜操作の概要を見る＞

ここをクリックすると、準備するものや操作のおおまかな流れを示すムービーが表示されます。（詳細手順は省略しています。）

パソコンを楽しむ

<操作手順を見る>

1. ポインターをこのウィンドウ内に移動する。
2. ジョグホイールを回して画面をスクロールする。

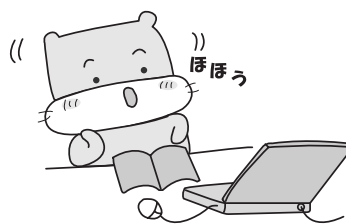
戻る：ひとつ前に開いた画面に戻ります。

進む：ひとつ後に開いた画面に進みます。

戻ったり、進んだりする画面がない場合は、このボタンをクリックしても何も動作しません。

見てね！お願い および お知らせ にポインターを移動すると知っておいていただきたい内容がポップアップで表示されます。内容が画面の境界で見えないときは、ジョグホイールで操作説明をスクロールして、再度表示してみてください。
「(クリックで説明表示)」と書かれている場合はクリックしてください。詳細情報が表示されます。

- この操作手順を閉じてしまったり、単体で起動したい場合は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Panasonic］→［オンラインマニュアル］→［AVボタン連携マニュアル］を選び、マニュアルの項目を選んでください。
- この操作手順を印刷したい場合は、写真や文字のない白い部分をトラックボールの下ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「印刷」を選んでください。
- 説明で紹介している画面は実際のものと異なる場合があります。
- 使用している写真などの素材はすべてサンプルイメージです。
- 概要を説明するムービーにおいて、DV機能やDVDビデオなどの操作を説明するために一部、動画を再生していますが、これらは擬似的に作成したハメコミ映像で実際のDVやDVDの映像品質ではありません。

知ってお きたいこと
ほほぅ

ソフトウェア使用許諾書

この製品にインストールされているソフトウェアについては、下記の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。
ただし、「筆ぐるめ」「QuickTime」「VirusScan」には、別途使用許諾書が用意されています。また、画面上で参照できる使用許諾書があるソフトウェアもあります。個別に使用許諾書があるものについては、そちらをご覧ください。

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア(コンピューター本体に内蔵のハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます)の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体(ハードウェア)の保証に限定したものです。

筆ぐるめのソフトウェア使用許諾書

第１条　権利

お客様は本ソフトウェアの使用権を得ることができますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェア及びそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターでは使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、富士ソフトＡＢＣでは一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても富士ソフトＡＢＣ、松下電器産業株式会社及び販売店はその責任を負いません。

第６条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、富士ソフトＡＢＣインフォメーションセンターまで、電話、E-mail、FAX にてお問い合わせください。（お問い合わせ先は『活用例集』をご覧ください。）
お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、富士ソフトＡＢＣが知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェアのインストール手順、操作方法、不具合に関する問い合わせについては、松下電器産業株式会社ではお受けすることができません。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する富士ソフトＡＢＣの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、富士ソフトＡＢＣ、松下電器産業株式会社及び販売店等はその責任を負いません。

第８条　ユーザー登録

上記第６条のアフターサービスには、ユーザー登録が必要です。
富士ソフトＡＢＣインフォメーションセンター行きのユーザー登録はがきが付属されていますので、詳しくはそちらをご覧ください。

QuickTime のエンドユーザ使用許諾契約書

Apple Computer, Inc.
QuickTime **ソフトウェア使用許諾契約書**

本ソフトウェアをお使いになる前に、このソフトウェア使用許諾契約書（以下“本ライセンス”という）をよくお読みください。このソフトウェアをお使いになることにより、本ライセンスの条項によって拘束を受けることに同意したことになります。本ライセンスの条項に同意しない場合、本ソフトウェアはご使用にならずに、コンピュータから削除してください。

１．使用許諾：

本ライセンスに付随するソフトウェア、文書及びフォントは、ディスク上であれ、読み出し専用メモリー内であれ、その他のいかなる媒体上であれ、または形式であれ、（以下、総称して『アップル・ソフトウェア』という）、Apple Computer, Inc.（以下「アップル社」という）により本ライセンスの条項に沿った用途に限って貴方に使用許諾されるもので販売されるのではなく、貴方に明示的に付与されない権利はすべてアップル社が留保します。ここに付与さ

（次ページへ続く）

れる権利は、アップル社の『アップル・ソフトウェア』に対する知的所有権に限定され、その他の特許権または知的所有権は含みません。貴方は『アップル・ソフトウェア』が記録された媒体を所有することができますが、『アップル・ソフトウェア』自体の所有権はアップル社および／またはアップル社のライセンサー（使用権取得者）が留保します。

２．許諾ライセンスの使用と制限：
本ライセンスにより貴方に許諾されるのは、『アップル・ソフトウェア』を一度に１台のコンピュータ上にインストールして使用することです。本ライセンスは、一度に複数のコンピュータ上に『アップル・ソフトウェア』が存在することを許諾しておらず、複数のコンピュータが一度に使用できるネットワーク上で『アップル・ソフトウェア』を利用することは認められません。貴方は、バックアップ目的でのみ機械可読形式で『アップル・ソフトウェア』のコピーを１部作成することができます。バックアップ・コピーには、オリジナル版に含まれる著作権やその他の所有権注意事項がすべて表示されるものとします。本ライセンスまたは準拠法によって明示的に許諾された場合を除き、貴方は、『アップル・ソフトウェア』の一部または全部の複写、逆コンパイル（decompile）、リバースエンジニアリング（reverse engineer）、逆アセンブル（disassemble）、修正、または派生製品の作成を行ってはなりません。『アップル・ソフトウェア』は、同ソフトウェアの故障が原因となって死亡事故、人身傷害、または深刻な物理的ないし環境上の被害を引き起こす恐れのあるような核施設、航空ナビゲーション／通信システム、航空管制システム、生命維持装置またはその他の機器の運用に使用することを意図したものではありません。

3．譲渡（ソフトウェアの譲渡）：
貴方は、『アップル・ソフトウェア』の貸し出し、リース、貸与、再許諾を行ってはなりません。ただし貴方は、(a)譲渡に、すべての構成部分、オリジナル媒体、印刷物、本ライセンスを含む『アップル・ソフトウェア』のすべてが含まれていること (b)貴方が、コンピュータまたはその他の記憶装置に記憶されたコピーを含む『アップル・ソフトウェア』の一部または全部を保持していないこと (c)『アップル・ソフトウェア』を受け取った当事者が本ライセンスの諸条件を読み、その受諾に同意することを条件に、貴方が保有する『アップル・ソフトウェア』の使用許諾権のすべてを第三者に一度だけ恒久的に譲渡することができます。

4．解除（ライセンスの解除）：
本ライセンスは、解除されるまで効力を有します。本ライセンスの条件を遵守しなかった場合、本ライセンスに基づく貴方の権利はアップル社からの予告なしに、自動的に終了するものとします。本ライセンスが解除された場合、貴方は『アップル・ソフトウェア』のすべての使用を中止し、一部または全部を問わず、『アップル・ソフトウェア』の複製物またはその構成部分をすべて破棄しなければなりません。

5．媒体の限定保証：
アップル社は、『アップル・ソフトウェア』が記録され、元の小売店購入日から90日間、通常の使用の下で素材および仕上がりに欠陥がないとしてアップル社の提供した媒体に対して保証を行います。本項に基づく貴方の唯一の救済措置は、アップル社の裁量により、『アップル・ソフトウェア』を記録した製品の購入価格の払い戻しか、もしくは領収書のコピーを付けてアップル社またはアップル社公認代理業者に返品される『アップル・ソフトウェア』の現物交換とさせていただきます。商品性、品質の満足度、特定用途への適合性に対する黙示の保証等を含む媒体に対する限定保証ならびにあらゆる黙示の保証は、元の小売店購入日から90日間に限定されます。黙示の保証の有効期間に対する制限を認めない法管轄地域もあるため、上記の制限が貴方に適用されない場合もあります。ここに規定する限定保証は貴方に対する唯一の保証であり、文書や包装によって行われるその他の保証（仮にあっても）の代わりとして提供されるものです。この限定保証は貴方に明確な法的権利を付与するものであり、貴方は法管轄地域により異なる他の権利も保有する場合もあります。

6．保証の放棄：
貴方は、『アップル・ソフトウェア』の使用は貴方の単独責任であり、品質の満足度、パフォーマンス、正確性、労力に関するあらゆるリスクが貴方に帰属することを明確に認め、同意するものとします。媒体に対する上記の限定保証を除き、準拠法によって認められる範囲内で、『アップル・ソフトウェア』は瑕疵を含んだまま、一切の保証なしに、「現状のまま」で提供されるものとし、アップル社とアップル社の使用許諾者（６項と７項の目的上、総称して「アップル社」という）は、明示的、黙示的、または法的を問わず、商品性、品質の満足度、特定用途への適合性、正確性、静謐性、第三者の権利を侵害していないことに対する黙示の保証および/または条件等を含む『アップル・ソフトウェア』に対する保証や条件をすべて放棄します。アップル社は、『アップル・ソフトウェア』に関する貴方の不満足に対して保証を行うものではなく、『アップル・ソフトウェア』に含まれる機能が貴方の要求を満たすこと、『アップル・ソフトウェア』の操作が中断したり、エラーが出ないこと、または『アップル・ソフトウェア』の瑕疵が修正されることを保証するものではありません。アップル社またはアップル社公認代理店によって与えられる口頭ないし書面によるいかなる情報または助言も、保証とはなりません。万一、『アップル・ソフトウェア』に瑕疵があることが判明した場合は、貴方がすべての必要な点検、修理、または修正の全費用を負担するものとします。黙示の保証の除外や、適用される消費者の法的権利に対する制限を認めない国もあるため、上記の除外や制限が貴方に適用

されない場合もあります。QuickTime Player は、インターネットを通じて全世界に配置されたサイトや情報を参照する検索結果を自動的に作成します。アップル社にはそのようなサイトや情報に対する規制手段がないため、アップル社では、(i)そのようなサイトや情報の正確性、流動性、コンテンツ、またはその品質、(ii)QuickTime Player によって完了したアップル・サーチ（検索）が、意図に反するコンテンツ、または好ましくないコンテンツを探し当てたか否かを含め、上記のサイトや情報に関する一切の保証を行いません。インターネット上のコンテンツのなかには、成人向け、すなわち一部の利用者や 18 歳未満の閲覧者には好ましくない題材で構成されているものもあるため、QuickTime Player の使用による検索結果や特定の URL へのアクセスが、自動的にしかも偶発的に好ましくない題材へのリンクや参照を生じるかもしれません。あらかじめインストールされたチャネル・ボタンによるものであっても、または利用者の検索結果であっても、QuickTime Player を通じて閲覧するコンテンツの適性について、アップル社は一切の表明または保証を行わないことを、QuickTime Player の使用を通じて確認していただきます。アップル社では、QuickTime Player を通じて再生されるコンテンツの配列、正確性、完全性、または適時性について保証はいたしません。アップル社、同社役員、系列企業、子会社は、QuickTime Player を利用して受信するコンテンツに対して、またはコンテンツの不正確、誤り、欠落に対して、貴方やそれ以外の方に、直接、間接を問わず一切責任を負わないものとします。

7．責任の制限

法律によって禁じられていない範囲で、アップル社は、責任の法理（契約、不法行為、またはその他）にかかわらず、またアップル社が当該損害の可能性について通知を受けていた場合でも、原因の如何を問わず貴方が『アップル・ソフトウェア』を使用した結果、またはそれを使用できなかった結果、もしくはそれに関連して生じた利益の逸失、データ消失、業務中断、その他の商業的損害や損失による損害等を含む、いかなる人身傷害、または付随、特別、間接、または結果損害についても、一切責任を負いません。人身傷害、または付随的または結果損害に対する責任を制限することを認めない法管轄地域も存在するため、上記の制限規定が貴方に適用されない場合もあります。いかなる場合でも、すべての損害に対する貴方へのアップル社の賠償責任限度額は（人身傷害を伴うケースで準拠法によって要求される場合は別として）50 米国ドルを上限とします。たとえ上記の救済措置によって本質的な目的を達成できない場合でも、上記の制限が適用されます。

8．輸出規制法に関する保証：

貴方は、米国の法律および『アップル・ソフトウェア』の調達が行われた法管轄地域の法律によって承認される場合を除いて、『アップル・ソフトウェア』を使用することも、輸出または再輸出することも認められていません。とりわけ、制限なしに、(a)米国が禁輸措置をとっている諸国（現在はキューバ、イラン、イラク、リビア、北朝鮮、セルビア、スーダン、シリア、またはタリバンが支配するアフガニスタンの一部）向けに（又はこれら諸国の国民や居住者に）、または(b)アメリカ合衆国財務省の特に指定された国民のリスト、またはアメリカ合衆国商務省の拒否人名リストに記載された人物に『アップル・ソフトウェア』を輸出または再輸出することは認められていません。『アップル・ソフトウェア』を使用することにより、貴方が当該国に居住せず、その支配下にないこと、その国民または居住者ではないこと、あるいは当該リストに記載された人物でないことを表明し、保証するものとします。

9．政府のエンドユーザの場合：

『アップル・ソフトウェア』と関連ドキュメンテーションは「商業品目」に分類されます。この用語は48C.F.R第12.212節または 48C.F.R 第 227.7202 節に使用されている「商業コンピュータ・ソフトウェア」と「商業コンピュータ・ソフトウェア・ドキュメンテーション」から構成される 48C.F.R 第 2.101 節に定義されています。48C.F.R 第 12.212節または 48C.F.R 第 227.7202-1 〜 227.7202-4 節に従って、商業コンピュータ・ソフトウェアと商業コンピュータ・ソフトウェア・ドキュメンテーションは、(a)「商業品目」としてのみ、かつ(b)本ライセンスの条件に従って他のすべてのエンドユーザに許諾される権利のみを伴い、米国政府のエンドユーザに使用が許諾されます。米国の著作権法に基づいて未公開権利は留保されています。

10．準拠法および契約の分離性：

本ライセンスは、カリフォルニア州内においてカリフォルニア州居住者間で締結され、履行される契約に適用される場合と同じく、カリフォルニア州法が適用され、同州法に従って解釈されるものとします。本ライセンスには国際物品売買契約に関する国連条約は適用されないものとし、その適用は明確に除外されています。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本ライセンスのいずれかの条項またはその一部を無効とした場合でも、本ライセンスの他の条項は完全な効力を有するものとします。

11．完全合意 - 適用言語：

本ライセンスは、本契約に従って許諾された『アップル・ソフトウェア』の使用に関する当事者間の完全な合意を構成するものであり、当該事項に関するすべての事前または同時の了解に優先するものとします。アップル社が署名した書面によるもの以外は、本ライセンスの修正または訂正は効力を有しないものとします。本ライセンスの翻訳は特定地域の要求に対して行われるものとし、英語版と非英語版の間に不一致が生じた場合は、本ライセンスの英語版が優先されるものとします。

仕様

日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

●本体仕様

機種			CF-X10R	CF-X10V
CPU			Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応 モバイル Pentium® IIIプロセッサ 850 MHz	モバイル Intel® Celeron™ プロセッサ 750 MHz
メモリー	メインメモリー *1		128M バイト(最大 256M バイト)	
	キャッシュ	L1	32 K バイト	
		L2	256K バイト	128 K バイト
	ROM		512 K バイト	
	ビデオメモリー		8 M バイト	
ハードディスクドライブ			30 G*2 バイト	
DVD-ROM&CD-R/RW 一体ドライブ			DVD-ROM　：最大 8 倍速 CD-R/RW　：読み出し：最大 24 倍速 書き込み：最大 8 倍速 書き換え：最大 8 倍速 バッファアンダーランエラー防止機能付き	
フロッピーディスクドライブ			1 ドライブ 3.5 型(1.44 M バイト /1.2 M バイト /720 K バイト)	
表示機能	テキスト表示		80 文字× 25 行	
	グラフィック表示		タイプ:14.1 型(TFT)（ビジュアルブライト） 解像度:1024 × 768 ドット　色数:1600 万色 *3	
入力装置	キーボード		総数 87 キー	
	ポインティングデバイス		光学式トラックボール（直径 16 mm）・ジョグホイール	
インターフェース	音声	マイク入力	ミニジャック M3(コンデンサーマイク使用のこと)	
		LINE 入力	ステレオミニジャック M3	
		オーディオ出力	ステレオミニジャック M3（光出力と共用）	
		光出力 *4	光デジタル音声出力端子　丸型（オーディオ出力と共用）	
	ディスプレイコネクター		アナログ RGB ミニ Dsub15 ピン	
	TV 出力		S 映像出力端子× 1 映像出力（ピンジャック）× 1	
	USB コネクター		Universal Serial Bus 準拠　4 ピン× 2	
	モデムコネクター		本体内蔵(RJ-11) データ: 56 kbps(V.90 & K56flex 両対応) FAX: 14.4 kbps*5	
	LAN コネクター		本体内蔵(RJ-45) 100BASE-TX/10BASE-T	
	i.LINK 端子 *6		IEEE1394 端子（S400）　4 ピン× 2	
カードスロット	PC カードスロット		タイプ I またはタイプ II × 2 スロット 、またはタイプIII× 1 スロット CardBus サポート (3.3 V: 750 mA,5 V: 500 mA,12 V: 50 mA)*7	
	SD/ マルチメディアカードスロット		SD メモリーカード・マルチメディアカード	
	RAM モジュールスロット		144 ピン,SO-DIMM,3.3 V,SDRAM,100 MHz*8 1 スロット	
オーディオ機能			PCM 音源（16 ビットステレオ） ステレオスピーカー（バスレフ構造）	
時計機能			クロックバッテリーバックアップ 月差± 60 秒	
電源			DC 19 V	
消費電力 *9			最大 約 60 W (社)電子情報技術産業協会　家電・汎用品高調波抑制対策 ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：約 36 W	
外形寸法(幅×奥行×高さ)			約 310 mm × 270 mm × 42 mm	
質量			約 3.4kg（バッテリーパック装着時）	
使用環境条件			温度:5 ℃～ 35 ℃ 湿度:30 %RH ～ 80 %RH（結露なきこと）	

*1 100 MHz 対応のシンクロナス DRAM およびセルフリフレッシュのモジュールに限り使用可能です。

*2 1G バイト =10⁹ バイト表記です。

*3 ディザリング機能を使用して約 1600 万色表示を実現しています。

*4 光デジタル出力はサンプリング周波数 48kHz です。MD レコーダーなどは 48kHz の入力に対応したものをご使用ください。

*5 市販のファクス用アプリケーションが別途必要です。

*6 i.LINK〔S200(TS)〕には対応していません。

*7 各スロットごとの許容電流です。他の周辺機器等による負荷がない場合のカードスロット単体での数値です。

*8 66 MHz の RAM モジュールは使用しないでください。

*9 電源オン時、バッテリー充電中の AC アダプターを含めた消費電力です。（電源オフ、バッテリー充電終了時、AC アダプターは約 1.2 W の電力を消費しています。また、電源オフ時のバッテリーの消費電力は約 15 mW です。）

●導入済みまたは添付ソフトウェア

	ソフトウェア名称
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition
ワープロ	Microsoft® Word 2002
表計算	Microsoft® Excel 2002
スケジュール管理	Microsoft® Outlook® 2002
辞書	Microsoft® Bookshelf® Basic 3.0
学習ソフト	Microsoft® Office XP Personal ステップバイステップ インタラクティブ
百科事典	Microsoft® Encarta® 百科事典 2001 Basic
テキストイラスト集	イラストメール
サインアップ	hi-ho
	@nifty
	ODN
	BIGLOBE
	ドコモ AOL
	DION
	OCN
ＤＶ画像取り込み	ＤＶキャプチャー
画像データ管理・編集	蔵衛門 8 デジブック for パナソニック
デジタルカメラ作品づくり	画贈屋さん 3
ラベル作成	印刷工房 2001 for パナソニック
絵画加工	バーチャルペインタープラス for パナソニック
ＤＶ動画編集	MotionDV STUDIO
ＡＶ統合管理ソフト	CN-Stage
動画メール送信	VideoGift
映像コミュニケーションソフト	DV@Talk
音楽ジュークボックス	BeatJam XX-TREME
ストリーミングメディアプレーヤー	BeatStream
DVD ビデオ再生	WinDVD™ 3.1
マルチメディアプレーヤー	QuickTime 5
CD-R/RW 書き込み	B's Recorder GOLD
はがき作成	筆ぐるめ Ver.9.0
交通経路探索	駅すぱあと
電子文書表示	Adobe Acrobat® Reader

●付属品仕様

機種		CF-X10R	CF-X10V
AC アダプター	入力	AC 100 V ～ 240 V[*10] , 50 Hz/60 Hz	
	出力	DC 19 V , 3.16 A	
	電源コード	125 V 対応	
バッテリーパック	仕様	7.2 V , 4.5 Ah (Ni-MH)	
	駆動時間[*11]	約 2.0 時間 約 2.1 時間 （JEITA 測定法 1.0 による）	約 1.6 時間 約 1.8 時間 （JEITA 測定法 1.0 による）

*10 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。（→ 5 ページ）

*11 LCD バックライト輝度最低時。また使用条件により異なります。

別売り商品

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

* パソコン本体の付属品と同等品です。

さくいん

な

は

ま

や

ら

・お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いません。
・本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
・お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、パソコンの取り扱いには注意してください。(→7ページ「取り扱うときは」)

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

知っておきたいこと

メモ

—パスワード・IDなど記入用—

お客様へのお願い

下記の情報をこの欄に記入してください。
また、これらの情報を他人に悪用されないように管理には十分に注意してください。

■Pana Informationサービス用ID・パスワード（→ 『活用例集』）

Pana Information ID	
パスワード	

■Panasonic hi-hoの登録情報
（hi-ho加入者のみ → 『活用例集』）

接続ID	
接続パスワード	
メールアカウント	
メールパスワード	
メールサーバー	
電子メールアドレス	

■その他のID・パスワード用

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間 （バッテリーパックを除く）

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

- FPANAPC*1アクセスについてFPANAPCのホームページ（http://www.nifty.ne.jp/forum/fpanapc）（2001年10月現在）をご覧ください。
  *1 インターネットプロバイダー「@nifty」のユーザーフォーラムでユーザーどうしによる情報交換などが行われています。
- パナソニックPCのホームページ*2では製品紹介、FAQなど情報掲載やご購入ユーザー様のオンラインメンバー登録を行っております。
  *2 [お気に入り]→[パナソニックお勧めのサイト]→[パナソニックPCのホームページ]にリンクされています。

修理を依頼されるとき

『一問一答集』や別紙の『お買い求め後すぐに「故障かな？」と思われた時は・・・』に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談
ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口
ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087
・お客様がおかけになった場所から最寄の修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
・携帯電話・PHS等からは最寄の修理ご相談窓口に直接おかけください。
・最寄りの修理ご相談窓口は、次のページをご覧ください。

商品についてのお問い合わせは
パナソニックパソコンお客様ご相談センター
電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）
FAX　0726-24-7717
365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2001年10月1日現在

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

•お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
•携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151
帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

青森 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120
宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
山口 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
佐賀 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
宮崎 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のパソコンの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番*	
販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

*保証書に記載されている品番（例：CF-X10R）を記入してください。

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ　PCCビジネスユニット

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

FJ1001-0
DFQM2137ZA